

NOMADIC™

R150

ユーザーガイド

お買い上げいただき、ありがとうございます。
ます。

NOMVDIC™

NOMVDIC™は探求心溢れる人材によって創立されました。ユーザーを重視したテクノロジー企業として、当社は製品がお客様をインスパイアし、ご自宅内にとどまらず無限のエンターテインメントの可能性を解放して、お好みのライフスタイルに合わせて進化できることを目指します。NOMVDICは、より高いレベルを目指す皆様のために開発されています。

繰り返しになりますが、NOMVDIC™をお選びいただき、誠にありがとうございます。

安全上のご注意

このプロジェクターをお使いになる前に、以下の安全上のご注意をよくお読みください。

- 全ての注意事項を読み、全ての仕様説明に従ってください。
- 換気を妨げないよう、プロジェクターの周囲、最低50cmは、清潔な状態を保ってください。
- プロジェクターは風通しの良い場所に置いてください。また、プロジェクターの内部に熱がこもらないように通風孔周辺には物を置かないでください。
- プロジェクターを傾斜や凹凸のある場所、不安定な場所に置かないでください。プロジェクターが倒れて、怪我またはプロジェクターの故障の原因となることがあります。
- 操作中はプロジェクターレンズを直視しないでください。強烈な光線により目を傷めることがあります。
- プロジェクターの動作中は、投影レンズを物で塞がないでください。物が加熱されて変形したり、火災の原因となる可能性があります。
- プロジェクターを分解しないでください。内部に危険な高電圧があり、通電箇所に触れると、死亡する可能性があります。
- プロジェクターを移動させる際は、落としたり、何かにぶついたりしないように十分にご注意ください。
- また、プロジェクターまたは接続ケーブルの上には重いものを置かないでください。
- プロジェクターを垂直に立てないでください。そうすることで、プロジェクターが倒れて、怪我またはプロジェクターの故障の原因となることがあります。
- プロジェクターは直射日光の当たる場所に置かないでください。ラジエーター、ヒートレジスタ、ストーブ、またはプロジェクターの温度を危険なレベルまで上昇させる可能性のあるその他の装置（アンプを含む）などの熱源の近くに設置しないでください。
- プロジェクターの近くまたは上に液体を置かないでください。プロジェクター内に液体がこぼれた場合、故障する可能性があります。プロジェクターが濡れた場合は、電源から外し、当社までプロジェクターの修理を依頼してください。
- プロジェクターが動作しているとき、換気グリルから熱気や臭いを感じる場合があります。これは正常な動作であり、故障ではありません。

- 分極プラグや接地プラグの安全規定を妨げないようにしてください。分極プラグは2つのブレードがあり、一方がやや幅広になっています。アースタイプのプラグには、2本のブレードと1本のアース用突起があります。幅の広いブレードとアース用ブレードは、安全のために用意されています。プラグがコンセントに合わない場合は、形状が一致する変換アダプタをご使用ください。
- プラグをコンセントに接続するときは、アース端子を絶対に取り外さないでください。
- プラグや電源コードが、何か物に踏まれたり、挟まれたりしないようにしてください。プロジェクターから突出した電源コード部分は、特に注意してください。
- 国によっては、電圧が安定していません。このプロジェクターは、AC100～240Vの電圧範囲で安全に動作するように設計されていますが、停電または±10Vのサージが発生すると故障することがあります。電圧が変動したり、遮断される可能性がある場所では、電源安定装置、サージ保護装置、または無停電電源装置(UPS)を介してプロジェクターを接続することをお勧めします。
- 万一、煙、異音、異臭などが発生した場合は、直ちにプロジェクターの電源を切り、販売店またはNOMVDIC™にご連絡ください。そのままご使用を続けることは大変危険です。
- 付属品/アクセサリはメーカーが指定する物のみをご使用ください。
- 長期間使用しない場合には、コンセントから電源コードを抜いてください。
- 製品の修理は、認定されたサービス担当者にご依頼ください。

内容



| | |
|----------------------|-----------|
| 安全上のご注意 | 3 |
| はじめに | 10 |
| 付属品 | 10 |
| 各部の名称 | 11 |
| プロジェクター | 11 |
| 接続ポート | 13 |
| リモコン | 14 |
| セットアップ | 16 |
| 場所の選択 - 投影方向 | 16 |
| 投影寸法 | 17 |
| 本体の接続 | 18 |
| 電源との接続 | 18 |
| 電源コンセント | 18 |
| USB-C電源バンク | 20 |
| バッテリーの使い方 | 21 |

| | |
|--------------------------|-----------|
| 外付け機器への接続..... | 22 |
| HDMI接続 | 22 |
| USB接続..... | 23 |
| ワイヤレス画面ミラーリング | 25 |
| 音声に接続する | 26 |
| Bluetoothスピーカー | 26 |
| Bluetooth音声出力..... | 27 |
| ネットワークに接続する | 28 |
| Wi-Fi接続 | 28 |
| カスタムSSID | 29 |
| NOMVDICリモコンアプリ | 30 |
| プロジェクターの使用法 | 31 |
| プロジェクターを起動する..... | 31 |
| 初めて起動する場合..... | 32 |
| Bluetoothペアリング | 32 |
| 使用言語 | 33 |
| ネットワーク設定..... | 34 |
| 入力ソースを選択する | 35 |

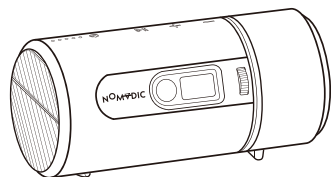
| | |
|--|-----------|
| 投影画像を調整する | 37 |
| 前面、側面、および天井投影 | 37 |
| フォーカスの調整 | 38 |
| プロジェクターをシャットダウンする | 39 |
| プロジェクターを操作する | 40 |
| ホーム画面 | 40 |
| ホーム画面 - オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューツリー | 42 |
| メニュー操作 | 48 |
| ファイル管理 | 48 |
| アプリセンター | 57 |
| 設定 | 59 |
| 画面ミラーリング | 72 |
| Bluetooth | 73 |
| アプリ追加 | 74 |
| 選択された入力ソース - オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューツリー | 75 |
| 画像設定メニュー | 78 |
| 詳細設定メニュー | 82 |

| | |
|---------------------|----|
| 付録..... | 85 |
| 仕様..... | 85 |
| タイミングチャート..... | 87 |
| HDMIビデオタイミング..... | 87 |
| HDMI PCタイミング..... | 88 |
| USB Cビデオのタイミング..... | 89 |
| USB C PCのタイミング..... | 90 |
| 3Dサポートタイミング..... | 91 |
| トラブルシューティング..... | 92 |
| LEDインジケータ..... | 94 |
| メンテナンス..... | 95 |
| お手入れの際の注意..... | 95 |
| レンズを清掃する..... | 95 |
| プロジェクターを保管する..... | 95 |

| | |
|-----------------------|-----|
| 規制およびサービス情報 | 96 |
| コンプライアンス情報 | 96 |
| FCCコンプライアンス声明 | 96 |
| 欧州諸国のCE適合 | 98 |
| RoHS2コンプライアンス宣言 | 99 |
| バッテリー警告 | 100 |
| インドの有害物質規制 | 101 |
| 著作権情報 | 102 |
| カスタマーサポート | 103 |
| 限定保証 | 104 |

はじめに

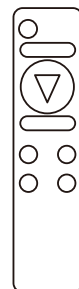
付属品



R150



リモコン電池



リモコン



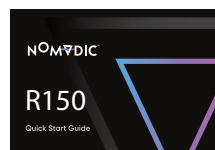
USB Cケーブル



電源アダプタ



電源コード



クイックスタートガイド

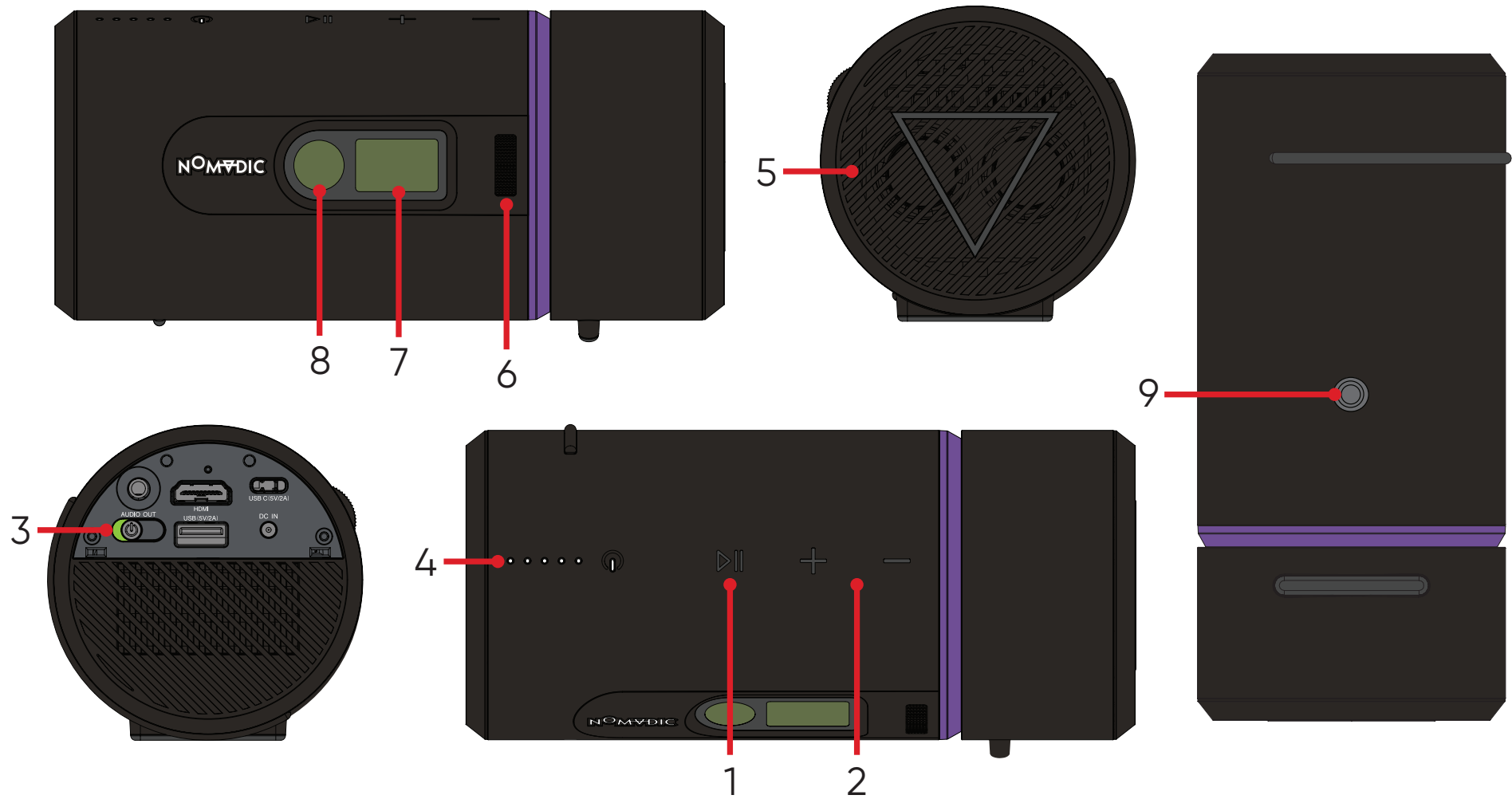


キャリーバッグ

注記： 同梱されている電源コードとビデオケーブルは、お住まいの国や地域によって規格が異なる場合があります。詳細情報については、カスタマーサービスにお問い合わせください。

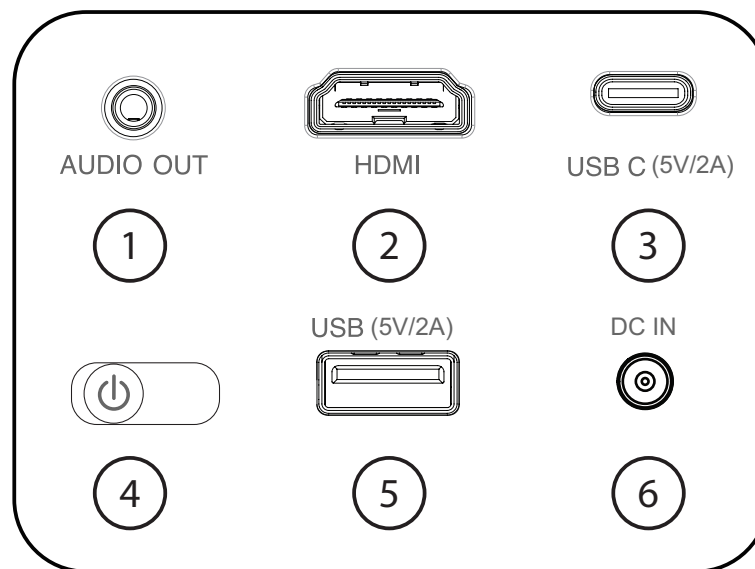
各部の名称

プロジェクター



| 項目 | | 詳細 |
|----|--------------------|-------------------------|
| 1 | 再生/一時停止ボタン | メディアプレーヤーのコンテンツを再生や一時停止 |
| 2 | 音量制御 | 音量レベルを増減します |
| 3 | 電源スイッチ | プロジェクターの電源をオン/オフします |
| 4 | 電池インジケーター | 残りの電池容量の表示 |
| 5 | Harman Kardonスピーカー | Harman Kardonスピーカー |
| 6 | フォーカス調整リング | フォーカスの調整 |
| 7 | レンズ | 投影レンズ |
| 8 | IRセンサー | IRセンサー |
| 9 | 三脚マウント | 三脚の取り付け位置 |

接続ポート



| ポート | | 詳細 |
|-----|--------------------|---------------------------------------|
| 1 | 音声出力 (3.5 mmジャック) | 3.5 mmジャック音声出力ソケット |
| 2 | HDMI ¹ | HDMIポート ² |
| 3 | USB C ³ | USB-Cポート |
| 4 | 電源スイッチ | 電源オン/オフ |
| 5 | USB A (5V/2A) | USB 2.0タイプAポート (USBリーダー - FAT32/NTFS) |
| 6 | DC入力 | 電源入力ソケット |

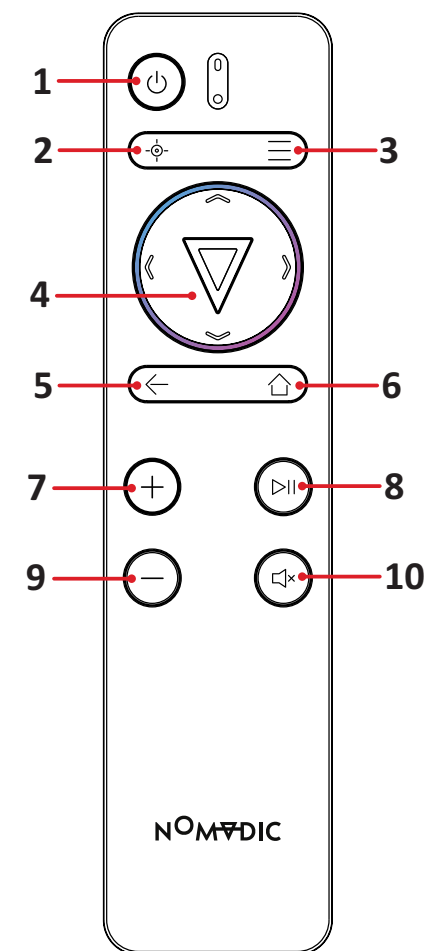
¹ HDMI 1.4、HDCP 1.4をサポートします。

² iPhone/iPadユーザーは追加アダプタを購入する必要があります。互換性の問題を回避するために、Appleの正規アクセサリを使用してください。

³ 付属のUSB-Cケーブルを使用して、USB-Cデバイスがビデオ伝送および充電をサポートできることを確認してください。

リモコン

| ボタン | | 詳細 |
|-----|------------|---|
| 1 | 電源 | プロジェクターをオンにします。 |
| 2 | フォーカス | 手動で調整する場合は、リモコンで フォーカス ボタンを押し、 左 および 右 矢印を使用します。 注記： このモデルは、 フォーカス ボタンをサポートしていません。画面上の画像のフォーカスを調整する場合は、 フォーカス調整リング を使用します。 |
| 3 | 設定 | 設定メニューを表示します。 |
| 4 | OK/上/下/左/右 | 選択を確定します。 目的のメニュー項目に移動して選択し、調整します。 |
| 5 | 戻る | 前の画面に戻ります |
| 6 | ホーム | ホーム 画面にアクセスします。 |
| 7 | 上げる | ボリュームを上げます。 |
| 8 | 再生/一時停止 | コンテンツを再生/一時停止します。 注記： 内蔵のメディアプレーヤーのみに対応します。 |
| 9 | 下げる | ボリュームを下げます。 |
| 10 | ミュート | ミュート/ミュート解除します。 |



注記： NOMVDICリモコンアプリを使用してR150を操作することもできます。詳細は、30ページを参照してください。

リモコン - 有効範囲

リモコンが正しく機能するようにするために、次の手順に従ってください。

1. リモコンを、プロジェクターのIRリモコンセンサーに対して30°以内で保持してください。
2. リモコンとセンサーの間の距離が、8 m (26フィート) を超えないようにしてください。

リモコン - 電池の交換

1. フィンガーグリップを押しながらスライドさせて、リモコンの底面から電池カバーを取り外します。
2. 必要に応じて既存の電池を取り外し、2本の単四電池を取り付けます。
3. 表示されているように電池の極性を確認してください。
4. 電池カバーをベースに合わせて押し込み、元の位置に戻します。

注記:

- ・ リモコンと電池を暑い場所や湿気の多い場所に放置しないでください。
- ・ 電池メーカーが推奨するものと同じまたは同等のタイプのもののみと交換してください。
- ・ 電池が消耗している場合、またはリモコンを長期間使用しない場合は、リモコンの損傷を防ぐために電池を取り外してください。
- ・ 電池を極端に低い気圧に曝すと、爆発したり、可燃性の液体またはガスが漏れたりする可能性があります。
- ・ 電池の使用、保管、輸送中は極端な高温または低温に晒したり、および気圧が下がる高地での使用は避けてください。
- ・ 使用済みの電池は、メーカーの指示および地域の環境規制に従って処分してください。

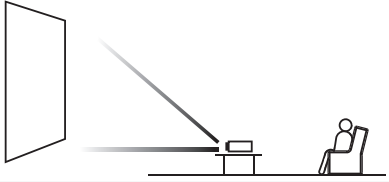
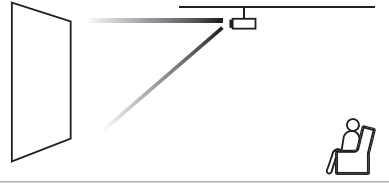
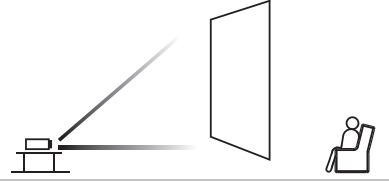
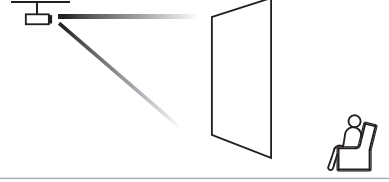
セットアップ

場所の選択 - 投影方向

設置場所は、個人の好みや部屋のレイアウトによって決まります。次の点を考慮してください。

- スクリーンのサイズと位置。
- 適切なコンセントの場所。
- プロジェクターと他の装置との間の場所と距離。

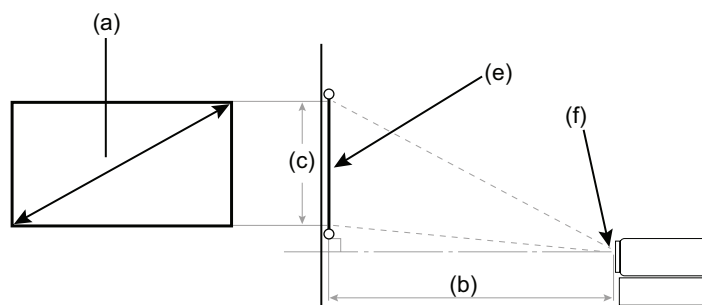
プロジェクターは、次のいずれかの場所に設置するように設計されています。

| 場所 | |
|--|---|
| フロント投映 プロジェクターはスクリーンの正面の床の近くに配置されます。 |  |
| 天吊正面 プロジェクターは、スクリーンの正面の天井から上下逆に吊り下げられます。 |  |
| リア投映¹ プロジェクターは、スクリーンの後ろの床の近くに配置されます。 |  |
| 天吊背面¹ プロジェクターは、スクリーンの後ろの天井から上下逆に吊り下げられます。 |  |

¹ 背面投影スクリーンが必要です。

投影寸法

- 16:9スクリーン上の16:9画像



注記: (e) = スクリーン/(f) = レンズ中心

16:9スクリーン上の16:9画像

| (a) スクリーンサイズ | | (b) 投影距離 | | (c) 画像の高さ | | 画像の幅 | |
|--------------|------|----------|------|-----------|------|------|------|
| インチ | mm | インチ | mm | インチ | mm | インチ | mm |
| 24 | 610 | 25.1 | 637 | 11.6 | 296 | 20.7 | 526 |
| 30 | 762 | 31.3 | 796 | 14.5 | 369 | 25.9 | 658 |
| 40 | 1016 | 41.8 | 1062 | 19.4 | 494 | 34.5 | 877 |
| 50 | 1270 | 52.2 | 1327 | 24.3 | 617 | 43.2 | 1097 |
| 60 | 1524 | 62.7 | 1593 | 29.2 | 742 | 51.7 | 1312 |
| 70 | 1778 | 73.1 | 1858 | 34 | 864 | 60.5 | 1537 |
| 80 | 2032 | 83.6 | 2124 | 38.9 | 987 | 69.1 | 1755 |
| 90 | 2286 | 94.1 | 2389 | 43.8 | 1112 | 77.6 | 1971 |
| 100 | 2540 | 104.5 | 2655 | 48.7 | 1237 | 86.1 | 2186 |

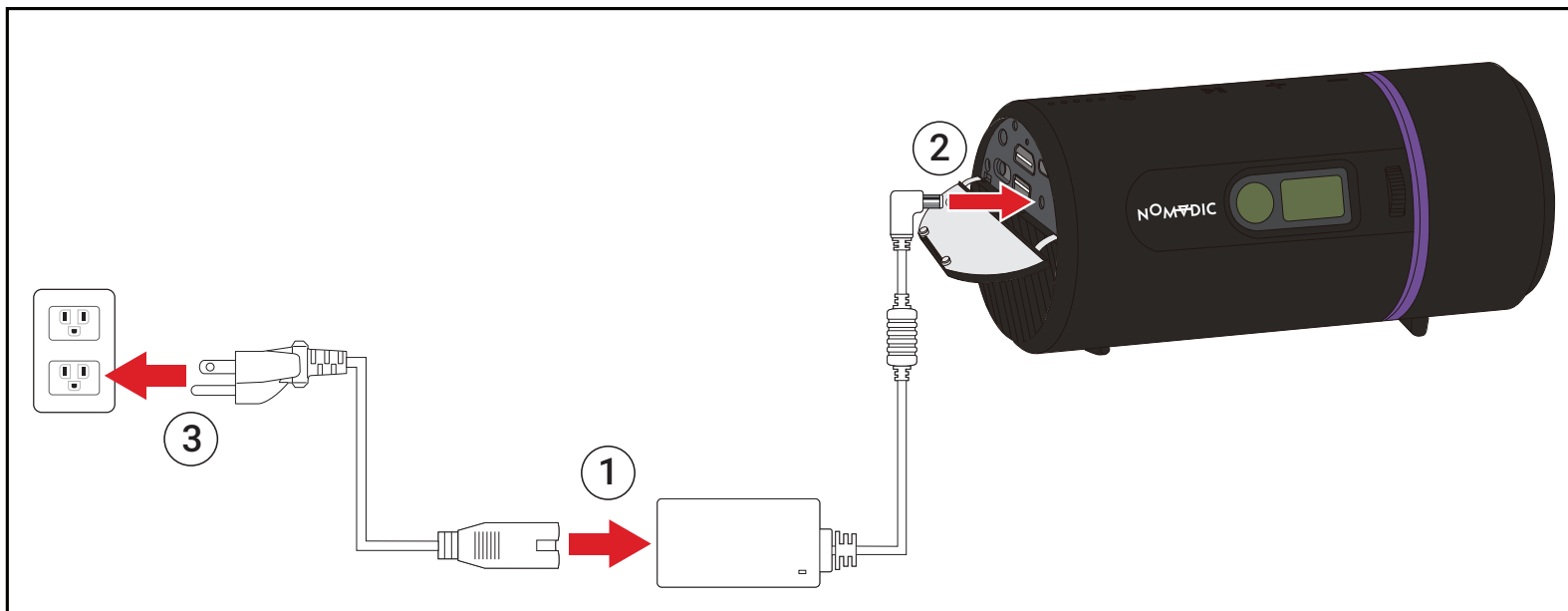
注記: プロジェクターを恒久的に設置する前に、実際のプロジェクターを使用して、投影サイズと距離を物理的にテストしてから、恒久的に設置することをお勧めします。

本体の接続

電源との接続

電源コンセント

1. 電源コードを電源アダプタに接続します。
2. 電源コードを本体後側のDC入力ジャックに接続します。
3. 電源プラグをコンセントに挿し込みます。



注記:

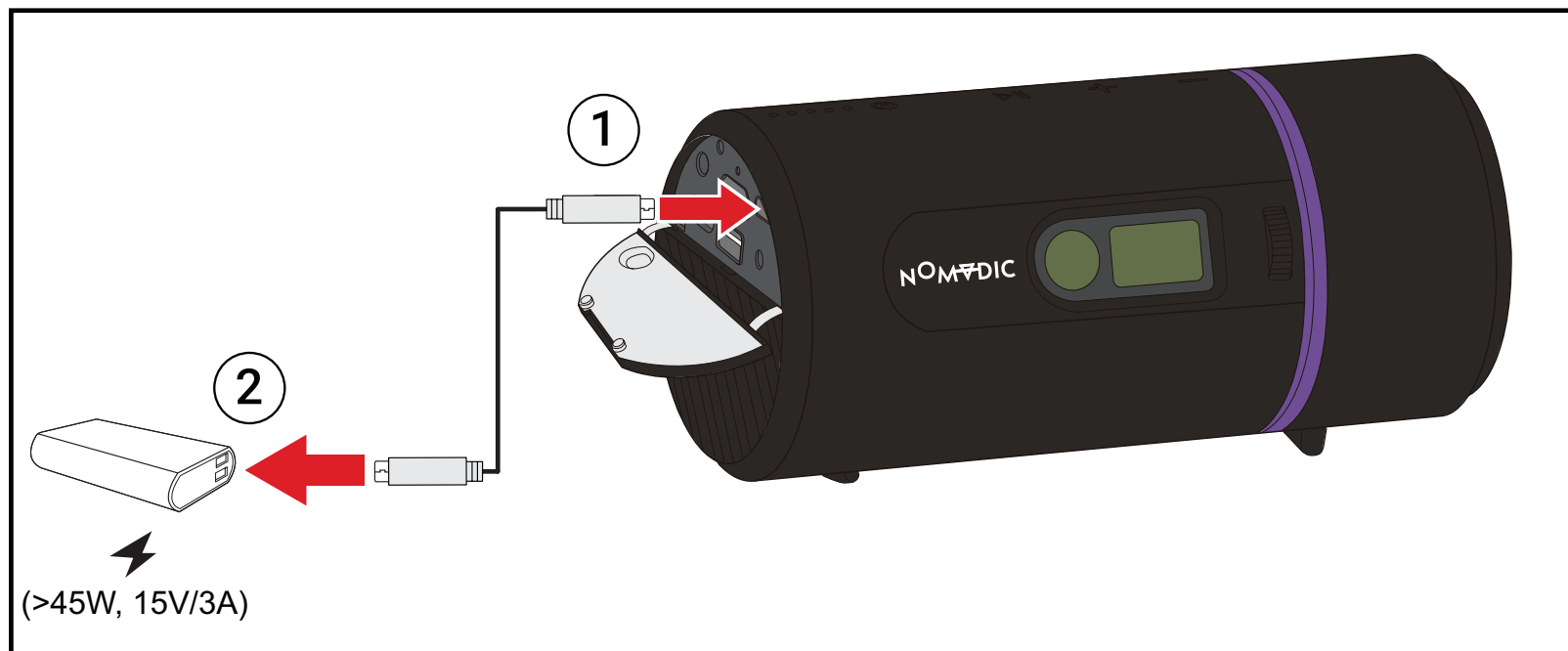
- プロジェクターを設置するときは、固定配線にすぐに手が届く切断機器を組み込むか、電源プラグを装置の近くにあるアクセスしやすいコンセントに接続してください。プロジェクターの操作中に障害が発生した場合は、切断機器を使用して電源を切るか、電源プラグを抜いてください。
- プロジェクターを初めてバッテリーモードで使用する前に、電源アダプタを介してプロジェクターを3時間充電します。

注意:

- 電池の充電とプロジェクターの電源供給には、付属の電源アダプタのみを使用してください。
- プロジェクターを初めてオンにする場合は、電源アダプタに接続してください。プロジェクターに電源アダプタを接続する場合は、接地済みのコンセントに接続することを強く推奨します。
- コンセントはプロジェクターの付近、簡単に手の届く場所に配置してください。
- プロジェクターの電源を外す場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

USB-C電源バンク

1. USBタイプCケーブルの一端をプロジェクターのUSB Cポートに接続します。
2. USBタイプCケーブルの他端を電源バンクに接続します。



注記: 電源バンクは、少なくとも45W (15V/3A) で、Power Delivery (PD) プロトコル出力をサポートするようにしてください。さらに、15V/3Aでは、プロジェクターの電源を入れて同時に充電することができます。IC保護メカニズムにより、USB-C充電機能が一時的に停止し、後で続行する場合があります。

バッテリーの使い方

バッテリーレベルアイコンは、**ホーム画面**の右上に表示されます。バッテリーの電力レベルが低下すると、画面に「バッテリー低下メッセージ」が表示されます。

バッテリー使用時間情報

| 充電 | 約3時間 |
|------------------------|--|
| 使用時間 | 最大4時間(省エネモード)/最大2.2時間(エコ)/最大1.5時間(フル) 注記: 音楽の再生のみであれば、通常7時間使用できます。 |
| バッテリーレベルインジケータ (充電) | 充電中: 白色LEDライトの点滅 フル充電: 白色LEDライトの点灯 |

注意:

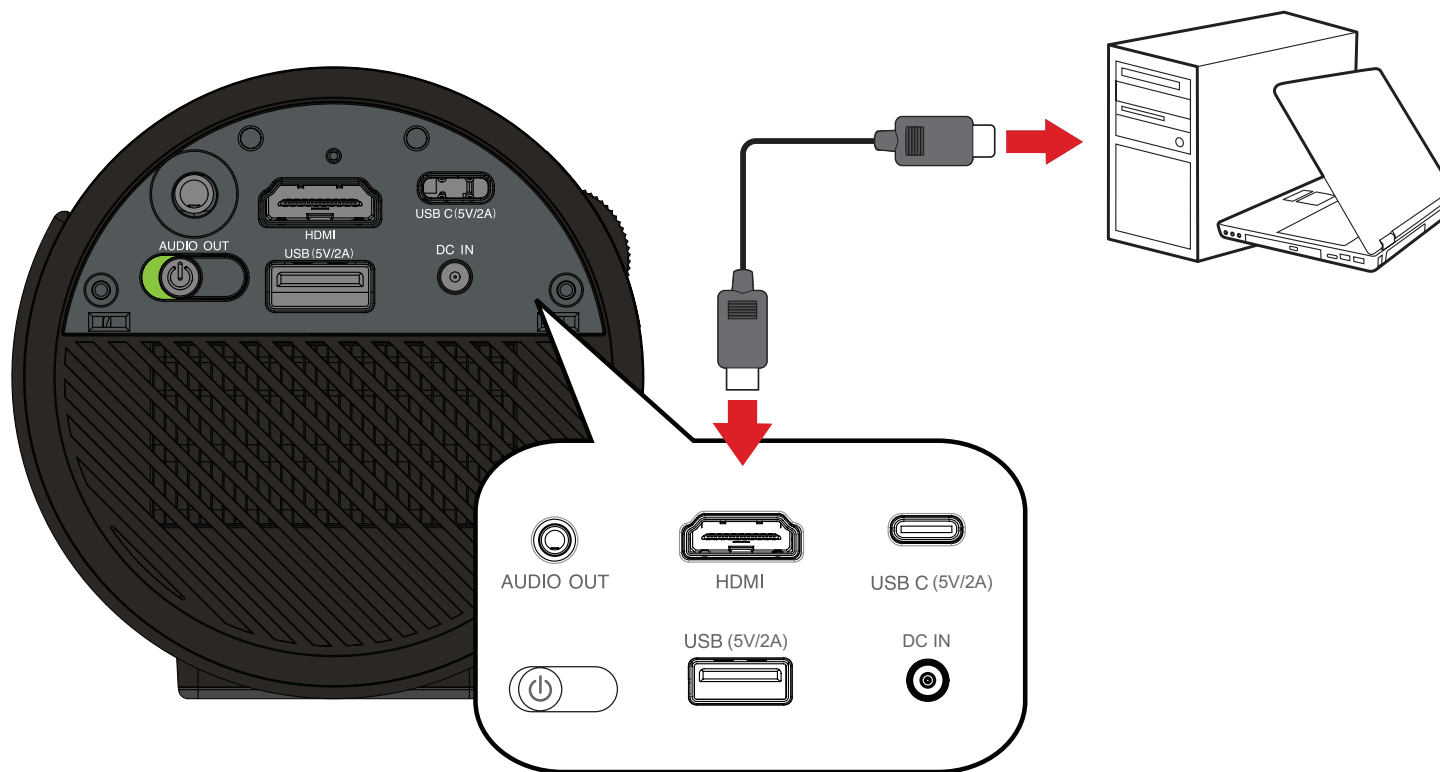
プロジェクターの電池に関して、以下の注意事項をご覧ください。

- プロジェクターを長期間使用していない場合、最初にバッテリーを3時間充電する必要がある場合があります。
- このデバイスに使用される電池は、取り外したり分解すると火災や化学薬品による火傷のおそれがあります。
- 安全を期するために、警告標記に従ってください。
- 電池を間違ったタイプのものに交換すると、爆発の危険があります。
- 火中に投じて廃棄しないでください。
- プロジェクターの電池は絶対に短絡させないでください。
- 電池は絶対に分解や再組立てを試みないでください。
- 液漏れが見つかった場合は使用を中止してください。
- 電池とその部品は適切にリサイクルまたは廃棄する必要があります。
- 電池やその他の小さな部品はお子様の手が届かないようにしてください。
- 少なくとも3か月に1回はバッテリーを完全に充電してください。

外付け機器への接続

HDMI接続

HDMIケーブルの片方をビデオ機器のHDMIポートに接続し、次に、ケーブルのもう一方の端をプロジェクターの**HDMI**ポート (HDMI 1.4、HDCP 1.4をサポート) に接続します。

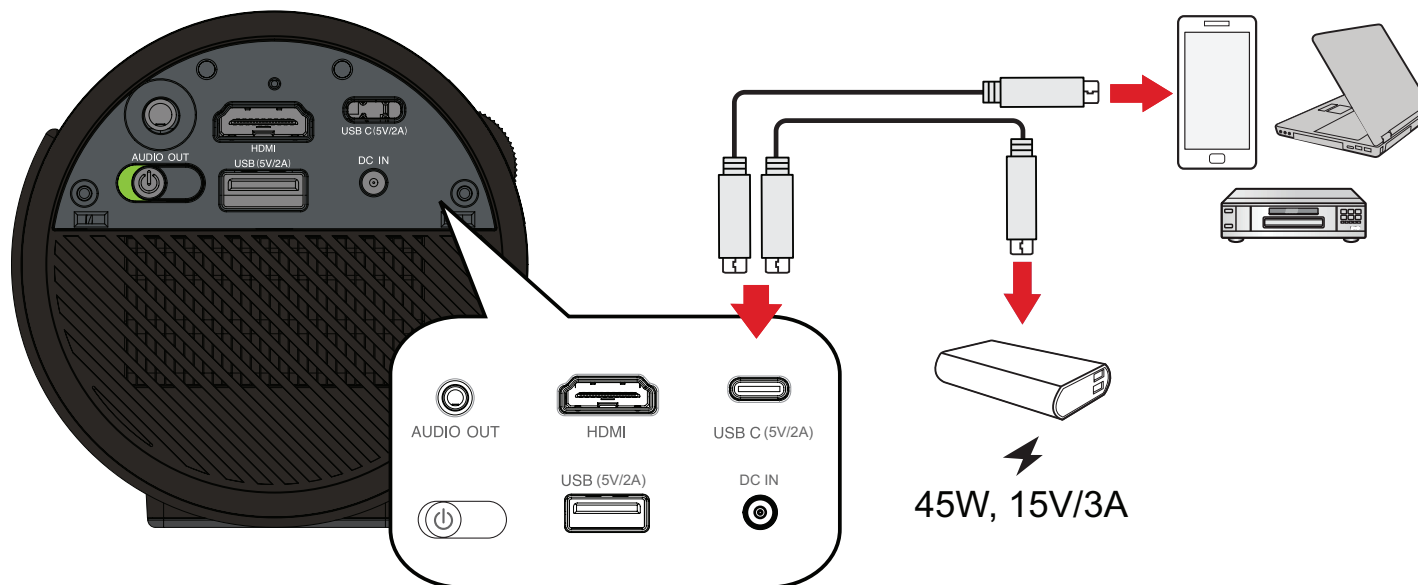


注記： iPhone/iPadユーザーは追加アダプタを使用する必要があります。

USB接続

USB C接続

USBタイプCケーブルの一端を機器のUSB Cポートに接続し、ケーブルの他端をプロジェクターの**USB C**ポートに接続します。



注記:

- USBタイプC機器がビデオ転送をサポートできることを確認してください。
- また、R150はUSB-C接続されたパワーバンクを使って、システムをオンにすることができます。システムの電源をオンにすると、残りの電力がR150の内蔵電池を充電します。

USB A接続

USBタイプAケーブルの一端をデバイスのUSB-Aポートに接続します(該当する場合)、ケーブルの他端をプロジェクターの**USB A**ポートに接続します。

さらに、キーボード、マウス、dongle、ストレージデバイスなどをプロジェクターの**USB A**ポートに接続できます。



ワイヤレス画面ミラーリング

画面ミラーリングは、ユーザーが自分の個人用デバイスの画面をミラーリングするための5GHz Wi-Fi接続を提供します。

注記:

- デバイスがプロジェクターと同じネットワークに接続されていることを確認してください。
- 最高の性能を得るために、5GHz Wi-Fiネットワークを使用することを推奨します。



iOSの場合:

1. ドロップダウンコントロールメニューにアクセスします。
2. 「画面ミラーリング」アイコンを選択します。
3. 「NOMVDIC XXXX」を選択します。

Androidの場合:

1. 「Google Home」アプリケーションをダウンロードし、インストールして、それを開きます。
2. アプリをプルして更新し、30秒待ちます。
3. 「NOMVDIC XXXX」が表示されるので、選択します。

注記: 一部のAndroidデバイスは、ダイレクト「キャスト」をサポートします。お使いのデバイスがキャストをサポートしている場合は、キャスト機能に移動し、利用可能なデバイスのリストから「NOMVDIC」を選択してください。「Google Home」アプリケーションをお持ちでない場合は、QRコードをスキャンして指示に従い、Androidデバイスを直接キャストできます。

音声に接続する

Bluetoothスピーカー

プロジェクターには、オーディオ再生用にデバイスをワイヤレスで接続するためのBluetoothが搭載されています。

デバイスを接続し、ペアリングするには：

1. 以下に進みます：**ホーム > Bluetooth**。
2. リモコンの上および下方向ボタンを使って、**Bluetoothスピーカー**または**Bluetoothペアリング**を選択します。次に、リモコンの**OK**を押します。



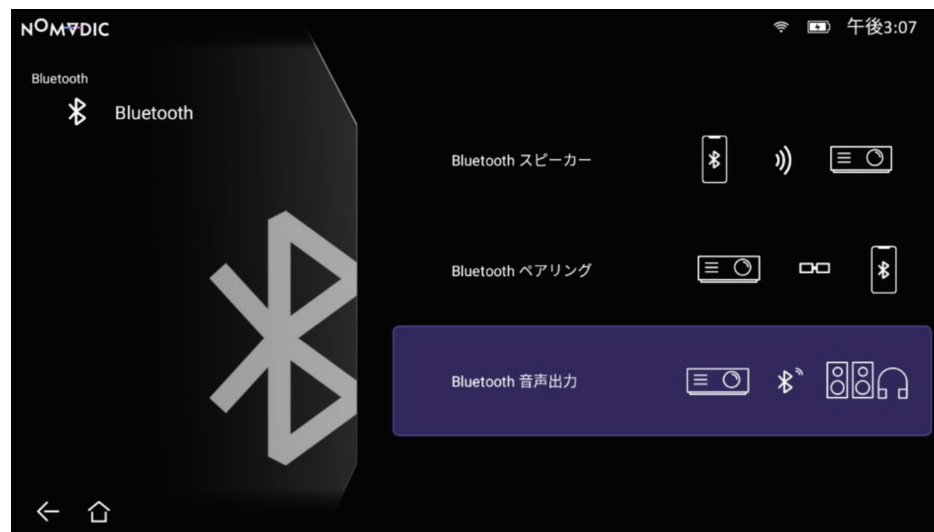
3. ペアリングモードに入ると、効果音が聞こえます。
4. 接続に成功すると、別の効果音が聞こえます。

注記：

- ペアリングすると、プロジェクターとデバイスの両方の電源が入っている場合、Bluetooth経由で自動的に接続されます。
- プロジェクターは「NOMVDIC R150」と名付けられます。
- R150をペアリング済みのスマートデバイスへ接続する場合は、毎回スマートデバイスのBluetooth設定から「R150」を選択してください。

Bluetooth音声出力

Bluetoothをサポートする外部ヘッドフォンまたはスピーカーにプロジェクターを接続します。



デバイスを接続し、ペアリングするには：

1. 以下に進みます：**ホーム > Bluetooth**。
2. リモコンの**上**および**下**方向ボタンを使って、**Bluetooth音声出力** オプションを選択します。次に、リモコンの**OK**を押します。
3. プロジェクターは、近くのBluetoothデバイスを検索します。リストからデバイスを選択し、リモコンの**OK**を押します。

注記： **Bluetooth音声出力** は、**Bluetoothスピーカー** または **Bluetoothペアリング** と同時に作動できません。

ネットワークに接続する

Wi-Fi接続

Wi-Fiネットワークに接続するには：

1. 以下に進みます：**ホーム > 設定 > ネットワーク設定 > Wi-Fi。**
2. リモコンの**左**または**右**を押して、**有効**を選択します。



3. 利用可能なWi-Fiネットワークが表示されます。利用できるWi-Fiネットワークのいずれかを選び、リモコンで**OK**を押します。
4. 安全なWi-Fiネットワークに接続している場合は、メッセージが表示されたらパスワードを入力する必要があります。

カスタムSSID

Wi-Fiネットワークに接続するには：

1. 以下に進みます：**ホーム > 設定 > ネットワーク設定 > Wi-Fi**。
2. リモコンの**左**または**右**を押して、**有効**を選択します。
3. 利用可能なWi-Fiネットワークリストから、**その他**を選択し、リモコンの**OK**を押します。
4. SSIDを入力して、**セキュリティレベル**を選択します。
5. プロンプトが表示されたら、**パスワード**を入力します。

注記： **IPの設定**に**自動**を選択して、システムにネットワーク設定を自動的に設定させることをお勧めします。

NOMVDIC リモコンアプリ

R150に付属するリモコン以外にも、スマートフォンへNOMVDICリモコンアプリをダウンロードしてR150を操作できます。

iOSの場合：

1. App Storeへ進みます。
2. 「NOMVDIC Remote Control」アプリを検索し、選択してダウンロードします。
3. アプリをインストールします。
4. スマートフォンとR150を同じWi-Fiネットワークへ接続します。

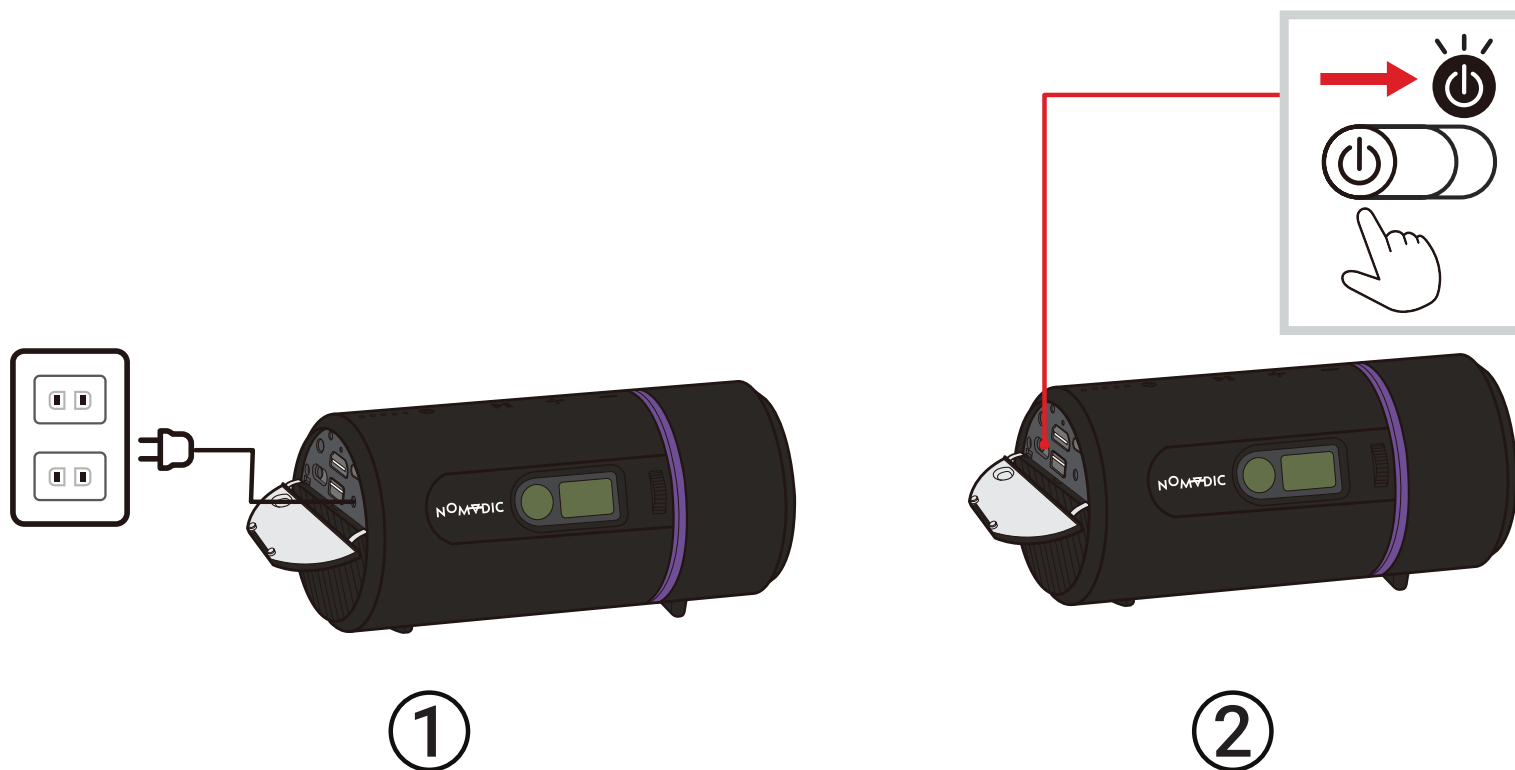
Androidの場合：

1. Google Playストアへ進みます。
2. 「NOMVDIC Remote Control」アプリを検索し、選択してダウンロードします。
3. アプリをインストールします。
4. スマートフォンとR150を同じWi-Fiネットワークへ接続します。

プロジェクターの使用法

プロジェクターを起動する

1. プロジェクターの電源コードがコンセントに正しく接続されていることを確認してください。
2. プロジェクターを初めて使用するときは、DC電源アダプタを差し込んだ後、完全に充電してください。
注記： バッテリーインジケータにバッテリー容量が表示されます。プロジェクターを完全に充電するには、約3時間かかります。
3. **電源トグル**をオンの位置に切り替えます。
注記： 起動プロセスが完了すると、ステータスLEDが緑色に点灯します。

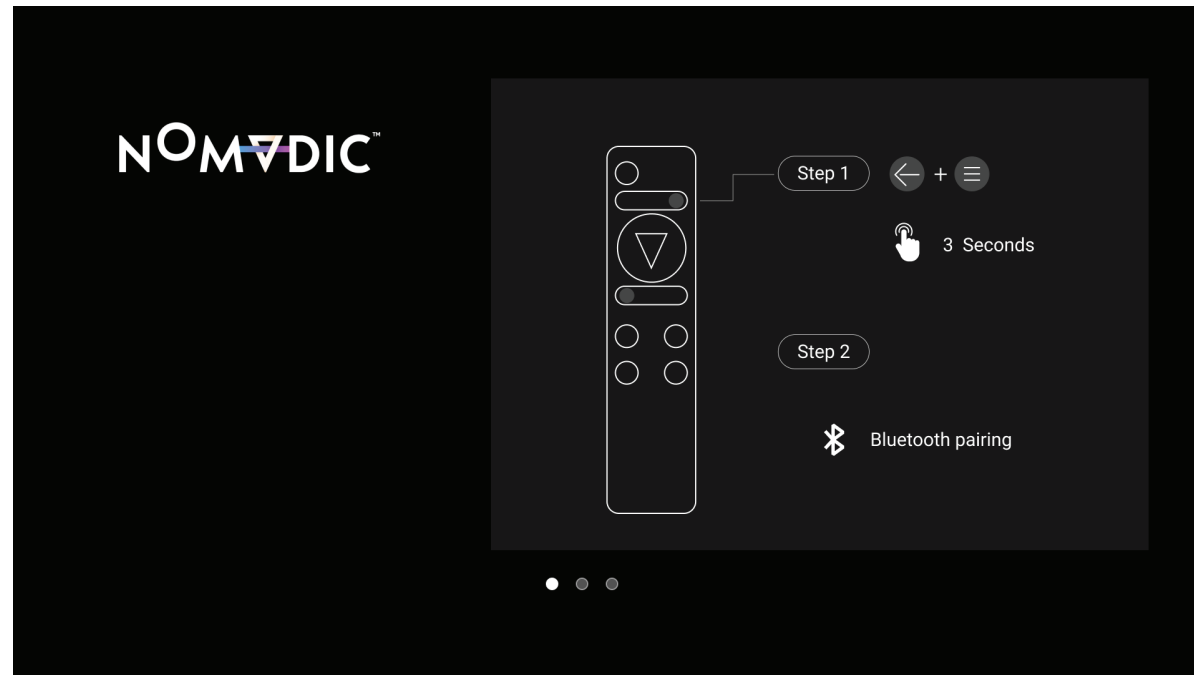


初めて起動する場合

プロジェクターを初めて起動する場合は、Bluetoothペアリング、優先言語、ネットワーク設定をセットアップする必要があります。リモコンを使用して、画面に表示される指示に従ってください。完了画面が表示されたら、プロジェクターは使用可能な状態です。

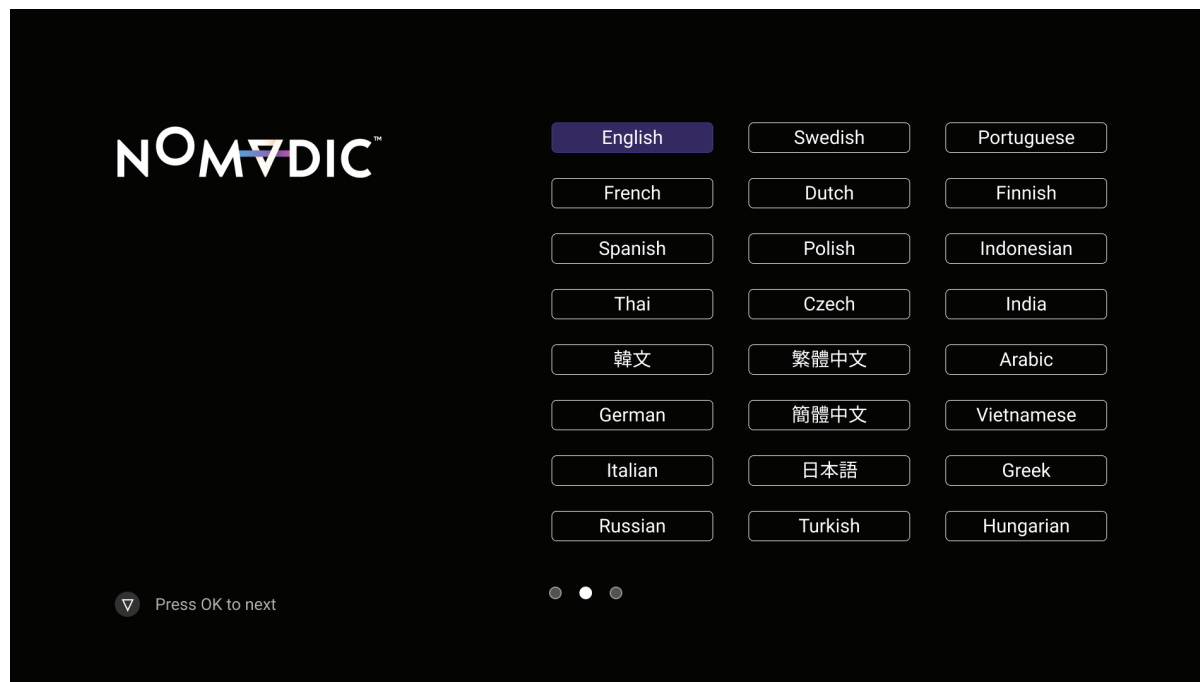
Bluetoothペアリング

Bluetoothをペアリングします。詳細については、32ページを参照してください。



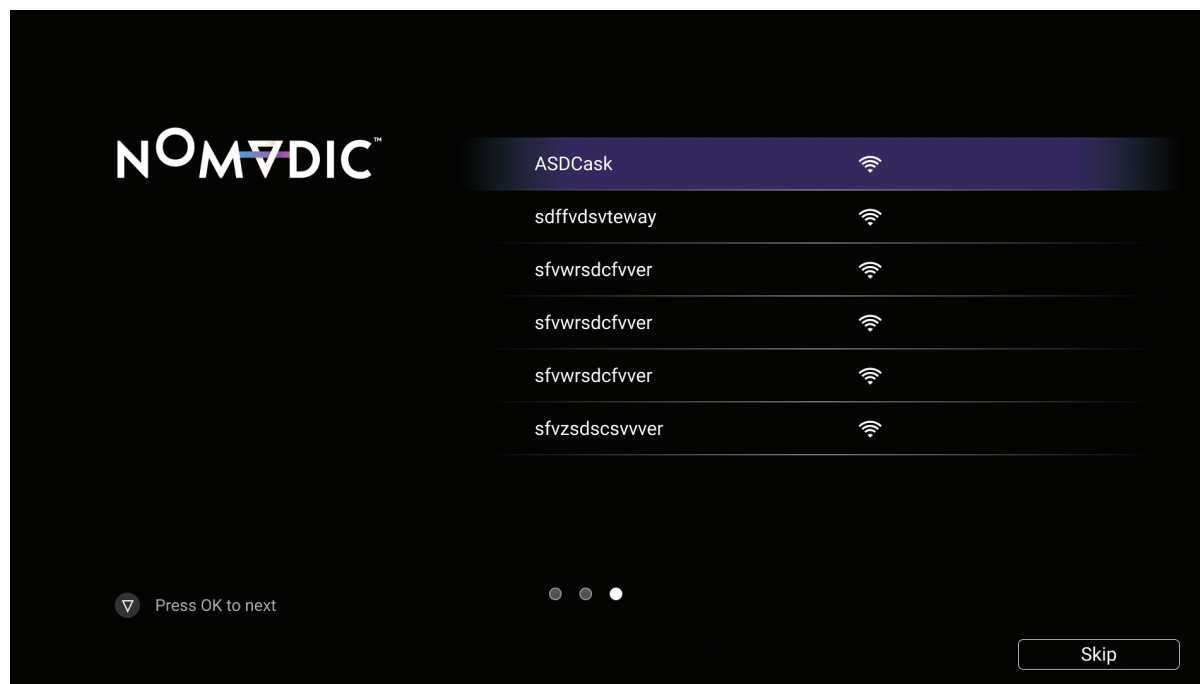
使用言語

リモコンで希望の言語を選択し、OKを押して選択を確定します。



ネットワーク設定

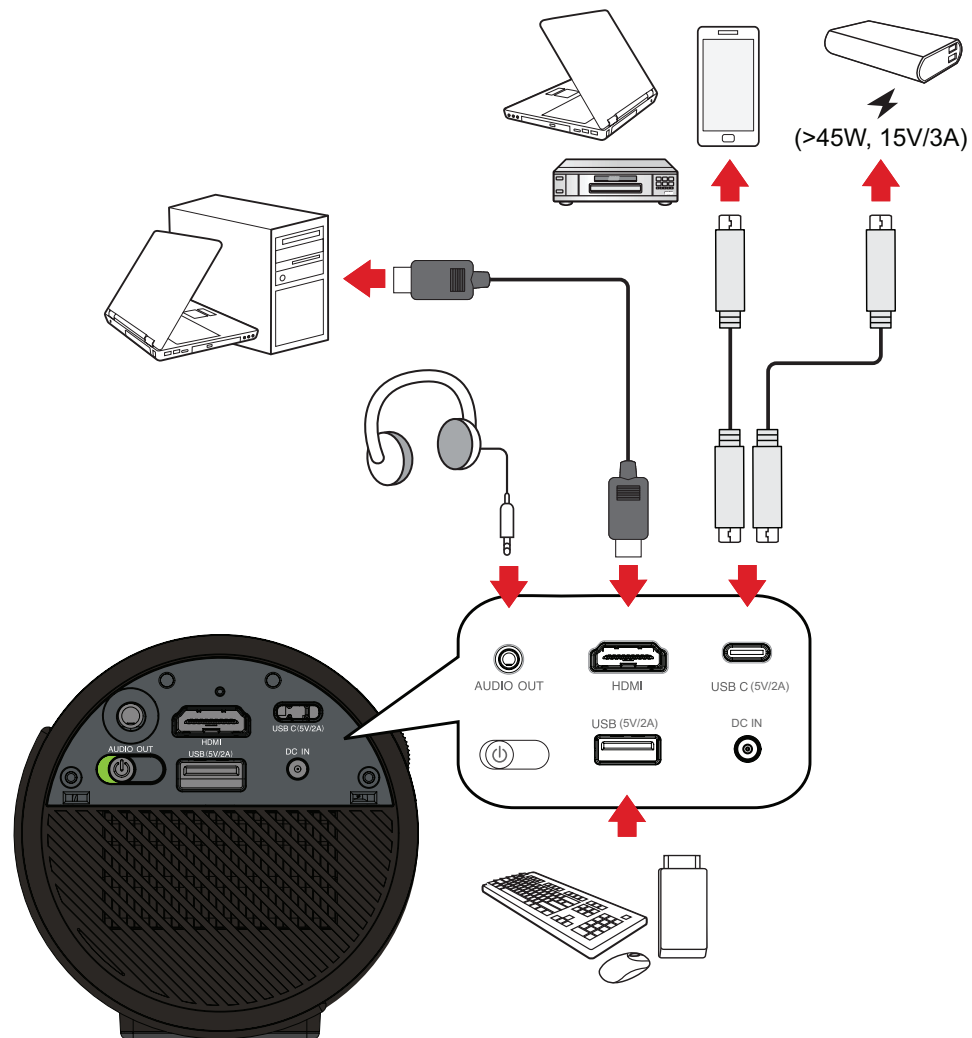
利用可能なWi-Fiオプションの1つを選択してください。詳細については、28ページを参照してください。



注記： NOMVDICリモコンアプリを使用してR150を操作することもできます。詳細は30ページを参照してください。

入力ソースを選択する

プロジェクターは同時に複数の機器に接続することができます。ただし、一度に1ソースしか表示できません。



プロジェクターは、自動的に入力ソースを検索します。複数の入力信号が接続されている場合、ソースの入力タブが表示されるまでリモコンで左ボタンを押し、続いて入力ソースを選択します。

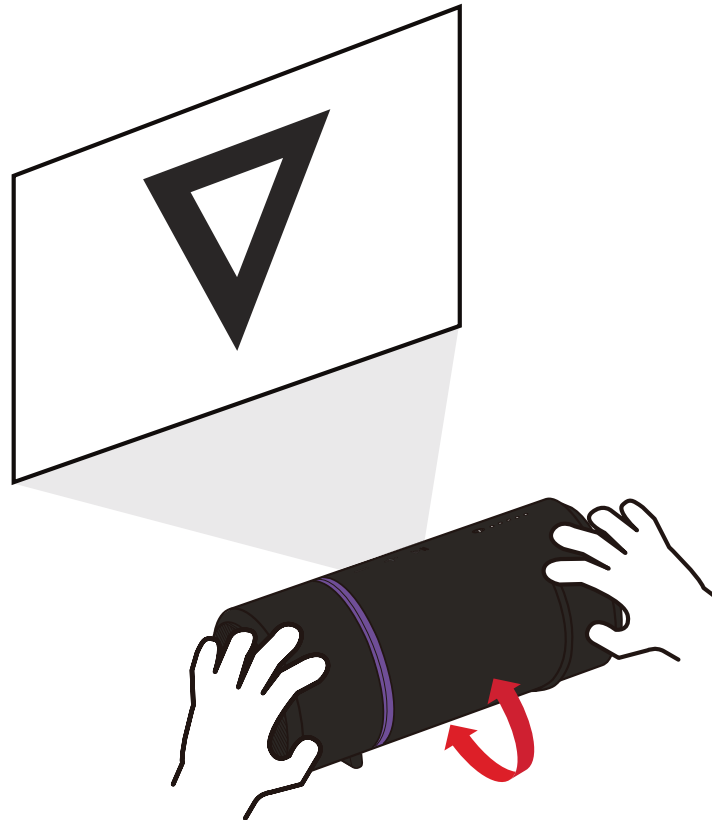
注記： 接続されたソースもオンであることを確認してください。



投影画像を調整する

前面、側面、および天井投影

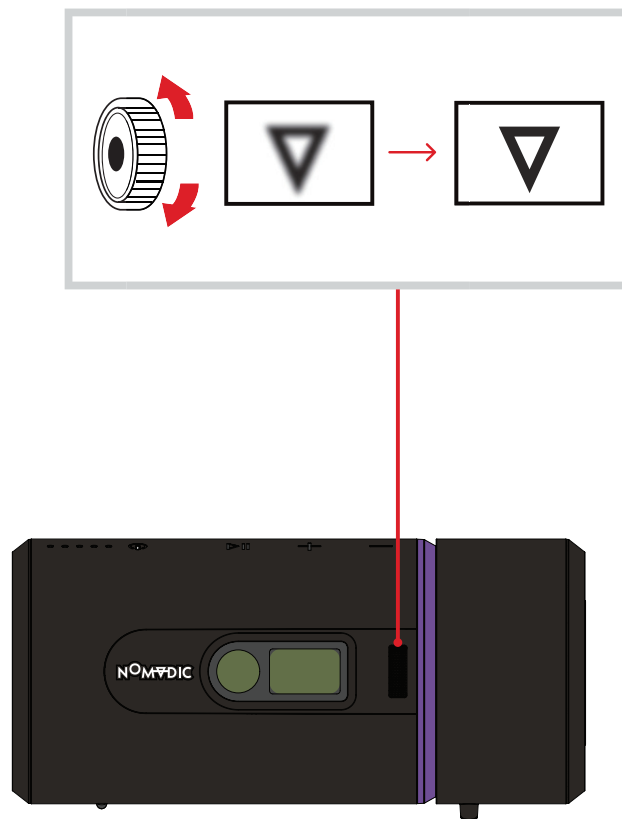
使用シナリオに最適な角度にプロジェクターを回転させます。



注記: プロジェクターが平らな面に置かれていない場合、またはスクリーンとプロジェクターが互いに垂直でない場合は、投影画像が台形になることがあります。ただし、「自動垂直台形補正」機能は問題を自動的に修正します。

フォーカスの調整

画面上の画像のフォーカスを調整するには、**フォーカス調整リング**をゆっくり上下に動かします。



プロジェクターをシャットダウンする

1. リモコンの**電源**ボタンを押します。
2. リモコンの**上/下**ボタンを押して、オフにするを選択し、リモコンの**OK**を押します。

注記： 使用しないときは、**電源トグル**をオフに切り替えて、プロジェクターの電源を完全にオフにしてください。リモコンの**電源**ボタンを使用すると、プロジェクターはスタンバイモードになり、バッテリーはまだ電力を消費します。

プロジェクターを操作する

ホーム画面

プロジェクターを起動するたびに、**ホーム画面**が表示されます。**ホーム画面**に移動するために、リモコンの方向ボタンを使用します。どのページが表示されている場合でも、リモコンの**ホーム**ボタンを押すと、いつでもメインの**ホーム画面**に戻ることができます。



| メニュー | 詳細 |
|-----------|--|
| ファイル管理 | ファイルおよびフォルダを管理するためのユーザーインターフェイスを提供します。 |
| アプリセンター | インストールしたすべてのアプリケーションにアクセスし、表示します。 |
| 設定 | ネットワーク設定、基本および詳細設定、日時、ファームウェアアップグレード、インフォメーション。 |
| 画面ミラーリング | プロジェクターを通して、個人用デバイスの画面をミラーリングします。 |
| Bluetooth | 適切なBluetoothモードを選択します。 |
| アプリ追加 | お気に入りのアプリを選択し、それらを ホーム画面 ¹ に追加します。 |

¹最大4つのアプリをホーム画面に追加できます。

ホーム画面 - オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューツリー

| メインメニュー | サブメニュー | | メニューオプション |
|---------|----------|------------|-------------|
| ファイル管理 | | | |
| アプリセンター | | | |
| 設定 | ネットワーク設定 | Wi-Fi | 無効/有効 |
| | | | SSID |
| | | | IP設定 |
| | | | IPアドレス |
| | | | サブネットマスク |
| | | | デフォルトゲートウェイ |
| | | | DNSサーバー |
| | 日時 | 日付と時刻の自動設定 | 無効 |
| | | | 有効 |
| | | 日付 | |
| | | 時刻 | |
| | | タイムゾーン | |
| | | 時刻形式 | 12時間 |
| | | | 24時間 |

| メインメニュー | サブメニュー | サブメニュー | メニューオプション |
|------------|--------|--------|------------|
| 設定 | 基本設定 | 言語選択 | English |
| | | | French |
| | | | German |
| | | | Italian |
| | | | Spanish |
| | | | Russian |
| | | | 繁體中文 |
| | | | 簡體中文 |
| | | | 日本語 |
| | | | 韓国語 |
| | | | Swedish |
| | | | Dutch |
| | | | Turkish |
| | | | Czech |
| | | | Portuguese |
| | | | Thai |
| Polish | | | |
| Finnish | | | |
| Arabic | | | |
| Indonesian | | | |
| Hindi | | | |

| メインメニュー | サブメニュー | メニューオプション | | | |
|---------|---------|--------------|-----------|--|--------------|
| 設定 | 基本設定 | 言語選択 | Vietnam | | |
| | | | Greek | | |
| | | | Hungarian | | |
| | | プロジェクターの設置場所 | フロント投映 | | |
| | | | 天吊正面 | | |
| | | | リア投映 | | |
| | | | 天吊背面 | | |
| | | 台形補正 | 自動垂直台形補正 | | |
| | | | 手動垂直台形補正 | | (-/+、-40~40) |
| | | | 手動水平台形補正 | | (-/+、-40~40) |
| | 四隅の調整 | | 無効 | | |
| | | | 有効 | | |
| | 四隅調整の設定 | | | | |
| | ズーム | 0.8x~1.0x | | | |
| | テストパターン | OK | | | |
| 詳細設定 | 電源オンソース | 無効 | | | |
| | | HDMI | | | |
| | | USB C | | | |

| メインメニュー | サブメニュー | メニューオプション | | | | |
|---------|--------|--------------|----------|---------|----------|----|
| 設定 | 詳細設定 | 電源オン/オフお知らせ音 | 無効 | | | |
| | | | 有効 | | | |
| | | エコ機能 | オートパワーオフ | 無効 | 10分 | |
| | | | | 20分 | 30分 | |
| | | | | 無効 | 30分 | |
| | | | | 1時間 | 2時間 | |
| | | | スリープタイマー | 3時間 | 4時間 | |
| | | | | 8時間 | 12時間 | |
| | | | | 省エネモード | 無効 | 有効 |
| | | | | | オーディオモード | 映画 |
| | | | | オーディオ設定 | | 音量 |
| | | | | | ミュート | 無効 |

| メインメニュー | サブメニュー | | メニューオプション | | |
|-------------|----------------|-------------------|-----------|--|--|
| 設定 | 詳細設定 | 光源出力レベル | フル | | |
| | | | エコ | | |
| | | | バッテリー節約 | | |
| | | Power Bank Mode | 無効 | | |
| | | | 有効 | | |
| | | 高地モード | 無効 | | |
| | | | 有効 | | |
| | | 設定をリセット | OK | | |
| | | | キャンセル | | |
| | | 工場出荷時デフォルトにリセットする | OK | | |
| | キャンセル | | | | |
| | ファームウェアアップグレード | オンラインでのソフトウェア更新 | | | |
| | | USBによるソフトウェア更新 | | | |
| | | OTAリマインダー | 無効 | | |
| 有効 | | | | | |
| ソフトウェアバージョン | | | | | |

| メインメニュー | サブメニュー | メニューオプション | | |
|-----------|-----------|---------------|-----------------------|--|
| 設定 | インフォメーション | 光源時間 | | |
| | | ファームウェアバージョン | | |
| | | メモリ情報 | xx GB (空き)/xx GB (合計) | |
| | | Wi-Fi MACアドレス | | |
| | | シリアル番号 | | |
| 画面ミラーリング | | | | |
| Bluetooth | | | | |
| アプリ追加 | | | | |

メニュー操作

ファイル管理

ファイルとフォルダを簡単に管理します。

1. 以下に進みます: **ホーム > ファイル管理**。



2. ソースリストからデバイスを選択します：USB、ローカルストレージなど。方向ボタンを使用して目的のファイルを選択します。次に、リモコンのOKを押して、選択したファイルを開きます。



3. 戻るボタンを押して、前のレベルに戻ります。

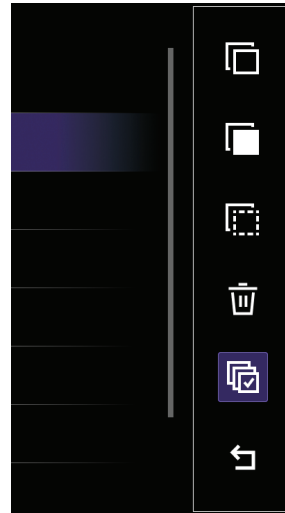
注記： リモコンのホームボタンを押して、いつでもホーム画面に戻ることができます。

ファイルを編集する方法

1. **ファイル管理**が表示されている間に、**OK**ボタンを3秒間長押しします。
2. 各ファイルの前にチェックボックスが表示されます。方向ボタンを使って、**OK**を押し、1つ以上のファイルを選択します。



3. 右ボタンを押すと、コピー、貼り付け、切り取り、削除、すべて選択、戻るボックスが利用可能です。



4. 目的の操作を選択し、**OK**を押して、実行します。

5. コピーまたは切り取りを実行している場合は、宛先フォルダを選択して、プロセスを完了させてください。

制御バーボタンを使用する方法

ビデオ、音楽、または写真ファイルが開かれると、制御バーボタンが画面上に表示されます。

| ピクチャ | | 音楽 | | ビデオ | |
|---|--------|---|---------|---|--------|
|  | 回転(左) |  | 巻戻し |  | 巻戻し |
|  | 前へ |  | 前へ |  | 前へ |
|  | 再生 |  | 再生 |  | 再生 |
|  | 一時停止 |  | 一時停止 |  | 一時停止 |
|  | 次へ |  | 次へ |  | 次へ |
|  | 回転(右) |  | 早送り |  | 早送り |
|  | メディア情報 |  | メディア情報 |  | メディア情報 |
|  | ズームアウト |  | すべて繰り返し |  | 再生設定 |
|  | ズームイン |  | シャッフル |  | 放送時間 |

| ピクチャ | 音楽 | | ビデオ | |
|------|--|--------|---|---------|
| |  | 一回繰り返し |  | すべて繰り返し |
| |  | 線形再生 |  | シャッフル |
| |  | プレイリスト |  | 一回繰り返し |
| | | |  | 線形再生 |
| | | |  | プレイリスト |

USB使用に関するヒント

読み取りおよび/または保存にUSBを使用する場合は、次の点に注意してください。

1. USBストレージデバイスによっては互換性がない場合があります。
2. USB延長ケーブルを使用すると、USBデバイスがUSBを認識しない場合があります。
3. Windows FAT32またはNTFSファイルシステムでフォーマットされたUSBストレージデバイスのみを使用してください。
4. 大きいファイルは、読み込みに時間がかかります。
5. USBストレージデバイス上のデータが破損または消失する可能性があります。重要なファイルをバックアップしてください。

サポートされるファイル形式

サポートされるOffice形式：

| | 項目 | 詳細 |
|------------------|--------------------|--|
| 文書閲覧機能 | doc/docx | doc/docxの文書を開いて読むことができます |
| | xls/xlsx | xls/xlsxの文書を開いて読むことができます |
| | ppt/pptx | ppt/pptxの文書を開いて読むことができます |
| | PDF | pdfの文書を開いて読むことができます |
| サポートするインターフェイス言語 | 44のインターフェイス言語をサポート | 英語、簡体字中国語、中国語(TW)、中国語(HK)、スペイン語(LA)、フランス語(EU)、ポルトガル語(EU)、ポルトガル語(BR)、ドイツ語、ロシア語、イタリア語、スウェーデン語、スペイン語(EU)、韓国語、アラビア語、ペルシア語、セルビア語、ボスニア語、マケドニア語、ブルガリア語、ウクライナ語、ギリシャ語、ノルウェー語、デンマーク語、チェコ語、ハンガリー語、スロバキア語、ポーランド語、ルーマニア語、フィンランド語、エストニア語、ラトビア語、リトアニア語、イギリス英語、スロベニア語、クロアチア語、トルコ語、ベトナム語、インドネシア語、オランダ語、マレー語、タイ語、ヒンディー語、ヘブライ語、ビルマ語、カタロニア語。 |

サポートされるマルチメディア形式:

| 拡張子 | タイプ | コーデック |
|--------------|-----|----------------|
| .avi | ビデオ | H.264 |
| | 音声 | MP3 |
| .mp4 .mov | ビデオ | H.264/MPEG-4 |
| .mkv | ビデオ | H.264 |
| .ts | ビデオ | H.264, MPEG-2 |
| | 音声 | MP3 |
| .vob | ビデオ | MPEG-1, MPEG-2 |
| | 音声 | DVD-LPCM |
| .mpg | ビデオ | MPEG-1 |

サポートされる写真の形式:

| 拡張子 | タイプ | 最大解像度 |
|------------|-------------|-------------|
| .jpg/.jpeg | プログレッシブJPEG | 7680 x 4320 |
| | ベースラインJPEG | 7680 x 4320 |
| .bmp | | 9600 x 6400 |
| .png | | 7680 x 4320 |

サポートされる外部接続デバイスの形式:

| デバイス | サポートされる容量 (最大容量) | NTFSサポート | | FAT32フォーマット | | exFAT | |
|-------------|---------------------|----------|------|-------------|------|-------|------|
| | | 読み取り | 書き込み | 読み取り | 書き込み | 読み取り | 書き込み |
| USBメモリスティック | 256 GB | V | N/A | V | V | N/A | N/A |
| USB HDD | 2 TB | V | N/A | V | V | N/A | N/A |

注記:

- Windows 10内蔵のフォーマットツールは、32GBまでのFAT32フォーマットをサポートします。
- ファームウェアアップグレードは、FAT32フォーマットのみをサポートします。

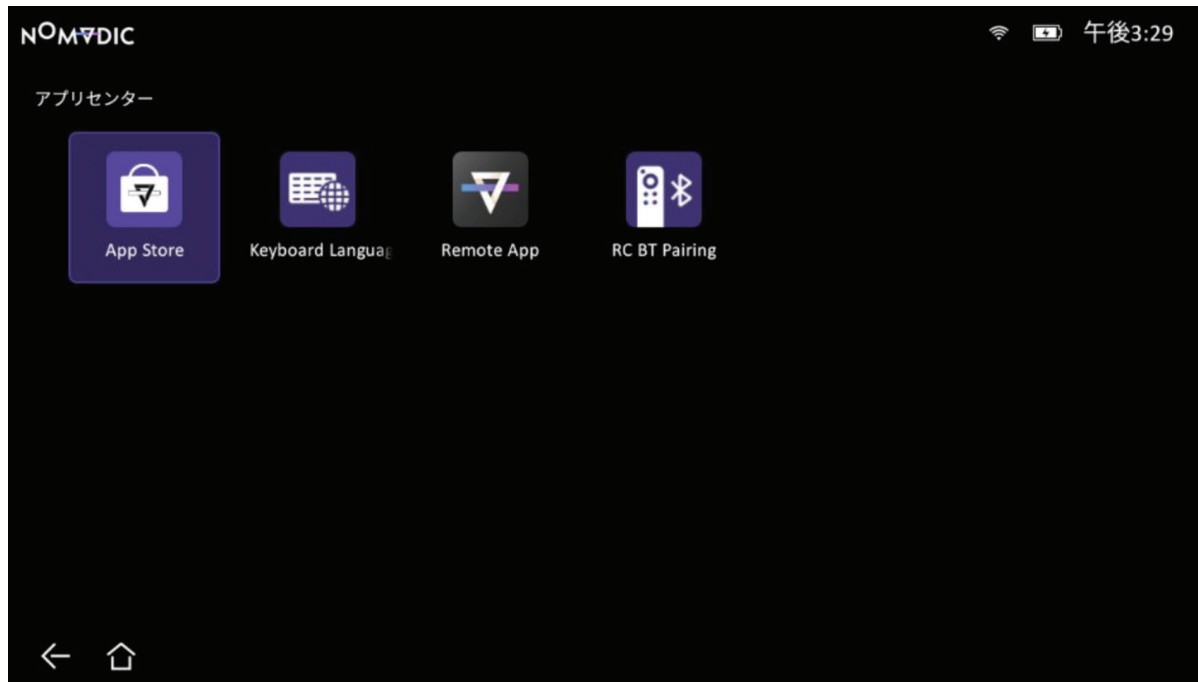
アプリセンター

アプリを表示、起動、アンインストールします。

1. 以下に進みます: **ホーム > アプリセンター**。



2. 方向ボタンを使って、希望のアプリを選択します。次に、リモコンの**OK**を押して、アプリを起動します。



注記： リモコンの**ホーム**ボタンを押して、いつでも**ホーム画面**に戻ることができます。

アプリをアンインストールするには

1. 以下を選択して、**アプリセンター**を開きます：**ホーム > アプリセンター**。
2. 方向ボタンを使って、希望のアプリを選択します。
3. リモコンの**OK**ボタンを3秒間長押しします。
4. **OK**を選択して、アプリをアンインストールします。

注記： リモコンの**ホーム**ボタンを押して、いつでも**ホーム画面**に戻ることができます。

設定

設定で、ネットワーク、日時、基本設定、詳細設定、ファームウェア更新を調整し、情報を確認できます。



ネットワーク設定

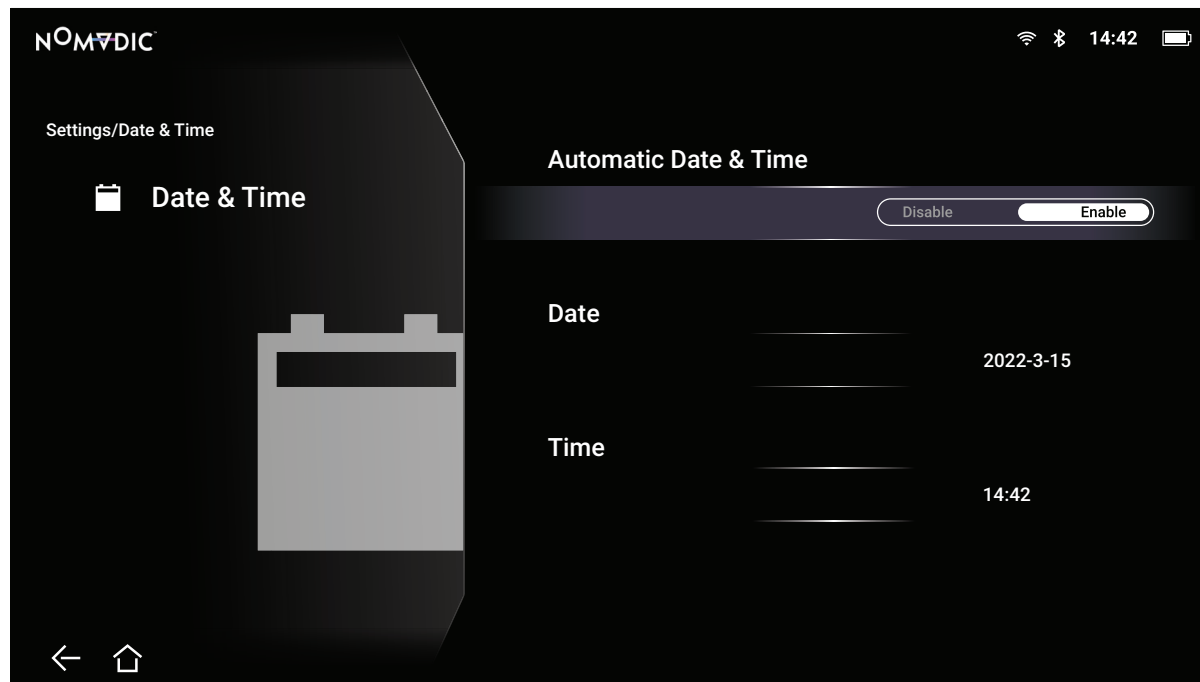
1. 以下に進みます：ホーム > 設定 > ネットワーク設定。



2. Wi-Fiおよびネットワーク設定を確認・調整します。
3. ワイヤレス接続を設定する場合は、28ページを参照してください。

日時

1. 以下に進みます: **ホーム > 設定 > 日時**。



2. **上**および**下**ボタンを使用して、目的のオプションを選択し、**OK**を押すか、**左**および**右**ボタンを使用して、調整または選択を行います。

| メニュー | 詳細 |
|--------------------------|--|
| <p>日付と時刻の自動設定</p> | <p>ユーザーはインターネットに接続した後に、日付と時刻を自動的に同期させることができます。</p> <p><u>有効</u> 同期をオンにします。</p> <p><u>無効</u> 同期をオフにします。</p> |
| <p>タイムゾーン</p> | <p>タイムゾーンを選択します。</p> |
| <p>時刻形式</p> | <p>表示時刻形式を選択します。</p> <p><u>12時間</u> 12時間制。</p> <p><u>24時間</u> 24時間制。</p> |

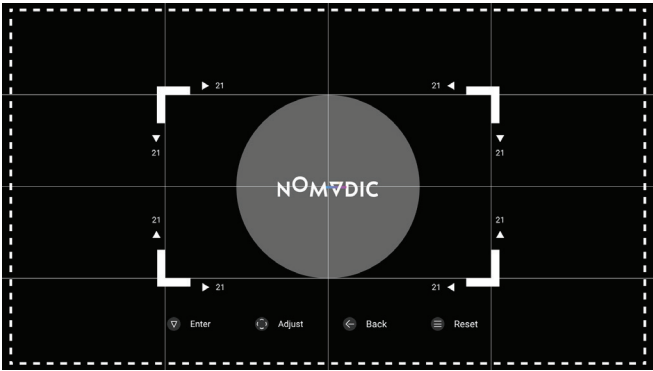
基本設定

1. 以下に進みます:ホーム > 設定 > 基本設定。



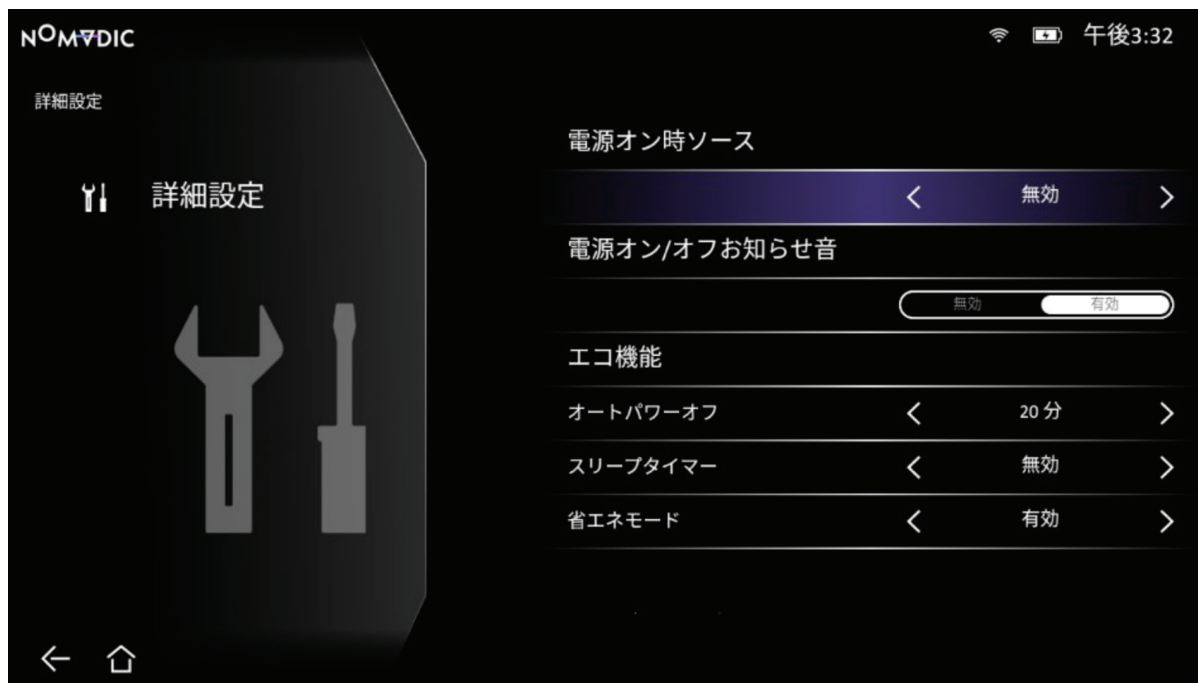
2. 上および下ボタンを使用して、目的のオプションを選択し、OKを押すか、左および右ボタンを使用して、調整または選択を行います。
3. 前のメニューに戻るには、戻るボタンを押します。

| メニュー | 詳細 |
|--------------|-----------------|
| 言語選択 | 希望の言語を選択します。 |
| プロジェクターの設置場所 | 好ましい投影位置を選択します。 |

| メニュー | 詳細 |
|----------------|---|
| <p>台形補正</p> | <p>台形スクリーンの画像のゆがみを調整します。</p> <p><u>自動垂直台形補正</u> 垂直キーストーンを自動的に調整します。</p> <p><u>手動垂直台形補正</u> キーストーンでは、水平方向のみを手動で調整できます。</p> <p><u>手動水平台形補正</u> キーストーンでは、垂直方向のみを手動で調整できます。</p> <p><u>四隅の調整</u> 投影を最大限柔軟に行えるように、各コーナーを個別に調整します。</p>  <p>注記： 四隅の調整がオンの場合、水平/垂直台形補正は無効になります。</p> |
| <p>ズーム</p> | <p>ズームレベルを調整します。</p> |
| <p>テストパターン</p> | <p>プロジェクターの色表示をテストします。</p> |

詳細設定

1. 以下に進みます:ホーム > 設定 > 詳細設定。



2. 上および下ボタンを使用して、目的のオプションを選択し、OKを押すか、左および右ボタンを使用して、調整または選択を行います。
3. 前のメニューに戻るには、戻るボタンを押します。

| メニュー | 詳細 |
|--------------|---|
| 電源オン時ソース | プロジェクターの電源を入れた直後に、ユーザーが希望のソースを入力できるようにします。 |
| 電源オン/オフお知らせ音 | 電源オン/オフの呼び出し音を有効または無効にします。 |
| エコ機能 | <p><u>オートパワーオフ</u> 入力ソースが検出されなくなると、設定した時間が経過するとプロジェクターは自動的にオフになります。</p> <p><u>スリープタイマー</u> 設定した時間が経過すると自動的にオフになります。</p> <p><u>省エネモード</u> 5分後に入力ソースが検出されない場合は、消費電力が少なくなります。 注記： 信号が5分間検出されないとき、LEDの消費電力は30%に変更されます。</p> |
| オーディオ設定 | <p><u>オーディオモード</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 映画：デフォルトの音声モードです。 ・ 音楽：音楽再生に最適です。 <p><u>音量</u> 音量を0から50に調整します。</p> <p><u>ミュート</u> 音量をミュートまたはミュート解除します。</p> |

| メニュー | 詳細 |
|------------------------|---|
| <p>光源出力レベル</p> | <p>LEDの適切な消費電力を選択します。</p> <p><u>フル</u> 100%</p> <p><u>エコ</u> 70%</p> <p><u>バッテリー節約</u> 40%</p> |
| <p>Power Bank Mode</p> | <p>プロジェクターの電源オンまたは充電を有効または無効にします。</p> <p>注記： 電源バンクは、少なくとも45W (15V/3A) で、Power Delivery (PD) プロトコル出力をサポートするようにしてください。</p> |
| <p>高地モード</p> | <p>環境が海拔1,500～3,000 m、気温が5°C～25°Cの場合は、高地モードを使用することをお勧めします。</p> <p>注記： 上記以外の極端な条件下でこのプロジェクターを使用すると、プロジェクターが過熱から保護されるように設計された自動シャットダウンの症状が現れることがあります。このような場合は、これらの症状を解決するために高地モードに切り替える必要があります。ただし、これは、このプロジェクターがあらゆる過酷または極端な条件下でも動作できることを示すものではありません。</p> |

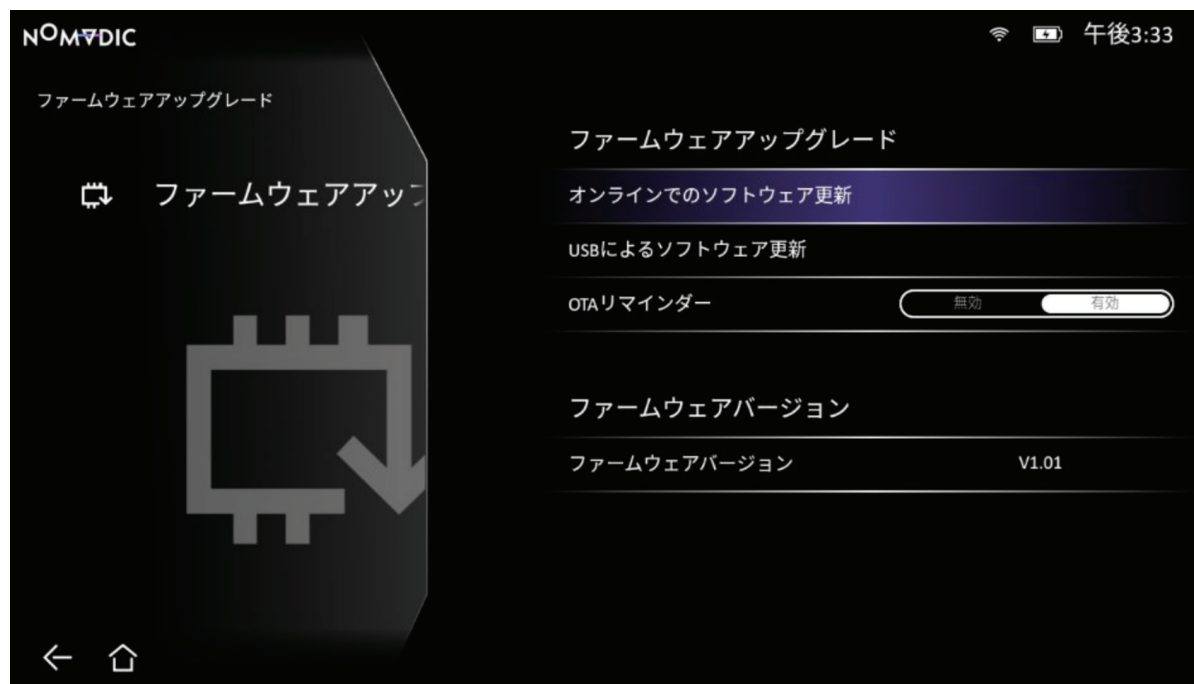
| メニュー | 詳細 |
|--------------------------|---|
| <p>設定をリセット</p> | <p>設定をデフォルトにリセットします。</p> <p>注記: 言語、高地モード、プロジェクターの設置場所、ネットワーク設定、アプリセンターにインストールされているすべてのアプリ、アプリの追加、Bluetooth、ズーム、水平/垂直台形補正、四隅調整の設定、光源時間は変更されません。</p> |
| <p>工場出荷時デフォルトにリセットする</p> | <p>工場出荷時の設定にリセットします。</p> <p>注記: 光源時間は変更されません。</p> |

ファームウェアアップグレード

ユーザーは、オンラインまたはUSBによりファームウェアを更新し、バージョン番号を確認できます。

注記: アップグレードプロセス中に電源コード、USBを抜いたり、インターネットから切断したりしないでください。

1. **ファームウェアアップグレード**メニューに入る前に、プロジェクターがインターネットに接続されていることを確認してください。
2. 以下の要領でメニューに入ります。**ホーム > 設定 > ファームウェアアップグレード**。



オンラインファームウェア更新

1. 以下に進みます：**ホーム > 設定 > ファームウェアアップデート > オンラインでのソフトウェア更新。**
2. リモコンの**OK**を押して、**入力**を選択します。
3. システムは、NOMVDIC Webサイト (OTA) を確認し、新しいファームウェアがある場合は、以下のダイアログメッセージを表示します。
4. **はい**を選択すると、更新プロセスの開始時に進行状況バーが表示されます。
5. 100%に達した後、プロジェクターは再起動します。全体のプロセスは約10分かかります。
6. ファームウェアの更新後、プロジェクターを再起動するために数分かかります。
注記： アップデート中はプロジェクターの画面が約10分間暗くなります。

インフォメーション

1. 以下に進みます：**ホーム > 設定 > インフォメーション**。



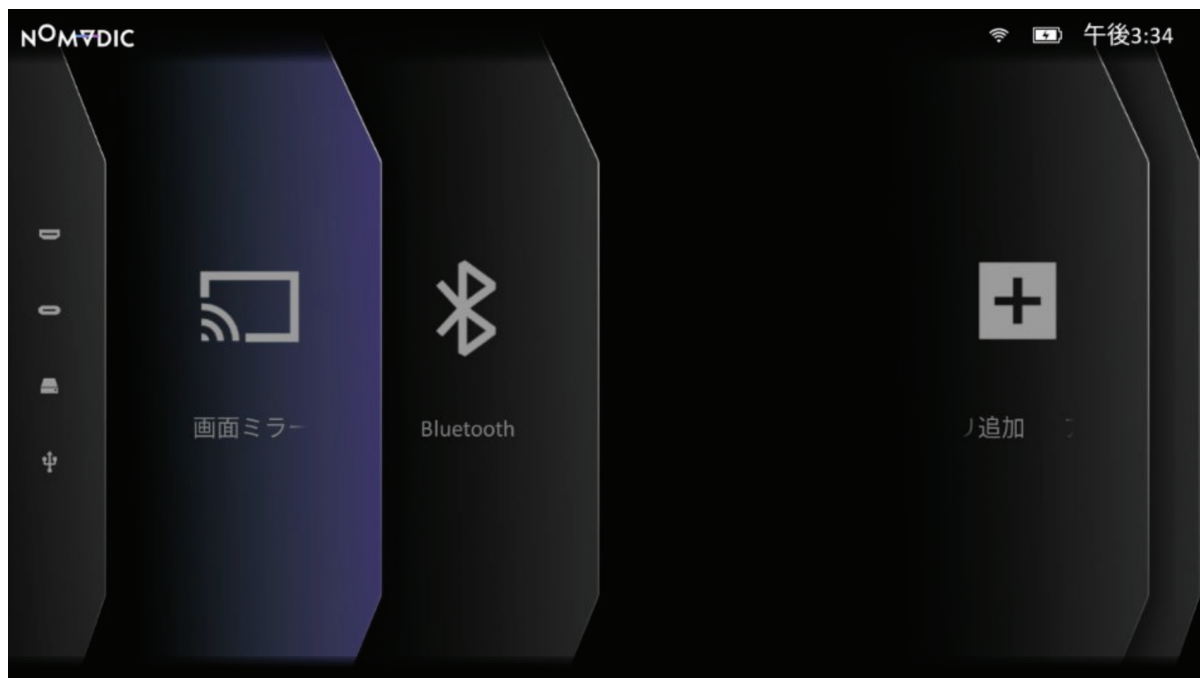
2. システムのステータスと情報を表示します。

注記： リモコンの**ホーム**ボタンを押して、いつでも**ホーム画面**に戻ることができます。

画面ミラーリング

個人用デバイスの画面をミラーリングします。ワイヤレス画面ミラーリングを設定する場合は、25ページを参照してください。

注記: デバイスがプロジェクターと同じネットワークに接続されていることを確認してください。



Bluetooth

プロジェクターには、オーディオ再生用にデバイスをワイヤレスで接続するためのBluetoothが搭載されています。詳細については、26ページを参照してください。



アプリ追加

お気に入りのアプリを**ホーム画面**に追加します。



1. **ホーム画面**から、アプリを追加を選択し、次に、リモコンの**OK**を押します。
2. 方向ボタンを使って、希望のアプリを選択し、**OK**を押します。
3. お気に入りのアプリが**ホーム画面**に表示されます。

注記: 最大4つのアプリを**ホーム画面**に追加できます。

アプリをホーム画面から削除する

1. **ホーム画面**から、削除するアプリを選択し、**OK**を3秒間長押しします。
2. 「お気に入りからこのアプリケーションを削除しますか?」というメッセージが表示されます。
3. **はい**を選択し、**OK**を押して、アプリを削除します。

選択された入力ソース — オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューツリー

入力ソースを選択したら、**画像設定**および**詳細設定**メニューを調整できます。

| メインメニュー | サブメニュー | メニューオプション | | | |
|---------|--------------|--------------|--------------|-------------|--|
| 画像設定 | カラーモード | 明るい | | | |
| | | テレビ | | | |
| | | 映画 | | | |
| | 輝度 | (-/+、0~100) | | | |
| | コントラスト | (-/+、-50~50) | | | |
| | 色温度 | 6500K | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | ユーザー | 赤ゲイン | (-/+、0~100) | |
| | | | 緑ゲイン | (-/+、0~100) | |
| | | | 青ゲイン | (-/+、0~100) | |
| | | 赤オフセット | (-/+、-50~50) | | |
| | | 緑オフセット | (-/+、-50~50) | | |
| | 青オフセット | (-/+、-50~50) | | | |
| 色調 | (-/+、-50~50) | | | | |

| メインメニュー | サブメニュー | メニューオプション |
|-------------|---------|-------------|
| 画像設定 | 彩度 | (-/+、0~100) |
| | シャープネス | (-/+、0~50) |
| | ガンマ調整 | 1.8 |
| | | 2.0 |
| | | 2.2 |
| | | 2.5 |
| | 光源出力レベル | フル |
| | | エコ |
| | | バッテリー節約 |
| | テストパターン | OK |
| 現在の色設定をリセット | OK | |

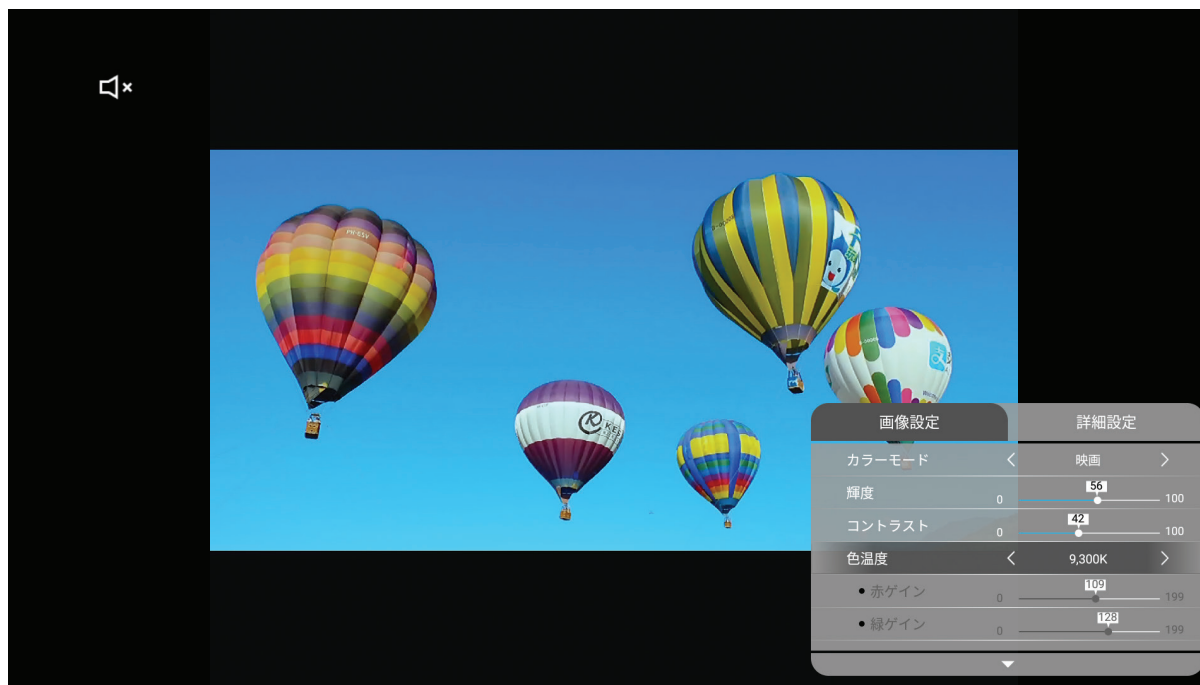
| メインメニュー | サブメニュー | メニューオプション | | | |
|---------|-----------|-----------|-------------------|------------|--|
| 詳細設定 | アスペクト比 | 自動 | | | |
| | | 4:3 | | | |
| | | 16:9 | | | |
| | HDMI設定 | 範囲 | 自動 | | |
| | | | フル | | |
| | | | リミテッド | | |
| | 3D設定 | 3D形式 | 無効 | | |
| | | | フレームシーケンシャル | | |
| | | | フレームパッキング | | |
| | | | トップアンドボトム | | |
| | | | サイドバイサイド | | |
| | | 3D同期反転 | 無効 | | |
| | | | 反転 | | |
| | オーディオ設定 | オーディオモード | 映画 | | |
| | | | 音楽 | | |
| | | | Audio Volume (音量) | (-/+、0～50) | |
| | | | ミュート | 無効 | |
| | | | 有効 | | |
| | インフォメーション | ソース | | | |
| | | 解像度 | | | |
| 3D形式 | | | | | |

画像設定メニュー


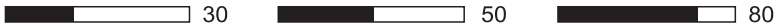
入力ソースを選択したら、**画像設定**メニューを調整できます。


画像設定メニューにアクセスするには：

1. リモコンの**設定**を押します。
2. リモコンの**左**および**右**方向ボタンを使って、**画像設定**オプションを選択します (該当する場合)。



3. 続いてリモコンの**上/下**ボタンを使用して、サブメニューを選択します。
4. リモコンの**左/右**ボタンを使用して、サブメニューに入る、および/または、設定を調整します。
5. リモコンの**戻る**ボタンを押して、前のメニューに戻るか、終了します。

| メニュー | 詳細 |
|--|---|
| <p style="text-align: center;">カラーモード</p> | <p>プロジェクターは、動作環境と入力信号に合わせて選択できるように、いくつかの定義済みピクチャモードでプリセットされています。</p> <p><u>明るい</u> 投影画像の明るさを最大にします。このモードは、非常に高い明るさが必要な環境、つまり明るい部屋に適しています。</p> <p><u>テレビ</u> 明るい環境でスポーツを見るために最適化されています。</p> <p><u>映画</u> カラフルな映画、デジタルカメラのビデオクリップ、またはPC入力によるDVに適しています。暗い場所での使用に最適です。</p> <p style="text-align: center;">注記： HDMI/USB-C信号入力にのみ対応しています。</p> |
| <p style="text-align: center;">輝度</p> | <p>値が大きいほど、画像は明るくなります。値を小さくすると、画像が暗くなります。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">注記： この機能は、一部のアプリでは動作しない場合があります。</p> |

| メニュー | 詳細 |
|---------------|---|
| <p>コントラスト</p> | <p>選択した入力と視聴環境に合うように、輝度設定を以前に調整した後で、これを使用してピークホワイトレベルを設定します。</p> <div style="text-align: center;">  <p>30 50 80</p> </div> <p>注記: この機能は、一部のアプリでは動作しない場合があります。</p> |
| <p>色温度</p> | <p>色温度を選択し設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 6500K: 通常の白の着色を維持します。 ・ 7500K: 6500Kより高い、より冷たい色温度。 ・ 9300K: 最高の色温度。画像を最も青白く見せます。 ・ ユーザーカラー設定: RGBの値をお好みに設定できます。 |
| <p>色調</p> | <p>値が高いほど、画像は緑色が強くなります。値が低いほど、画像は赤色が強くなります。</p> |
| <p>彩度</p> | <p>ビデオ画像のその色の量を指します。設定を低くすると、彩度が低くなります。実際、「0」に設定すると、画像からその色が完全に削除されます。彩度が高すぎると、その色が圧倒的になり、非現実的になります。</p> |
| <p>シャープネス</p> | <p>値が大きいほど鮮明な画像になります。低い値では画像が柔らかくなります。</p> |
| <p>ガンマ調整</p> | <p>入力ソースと画像輝度の関係を反映しています。</p> |

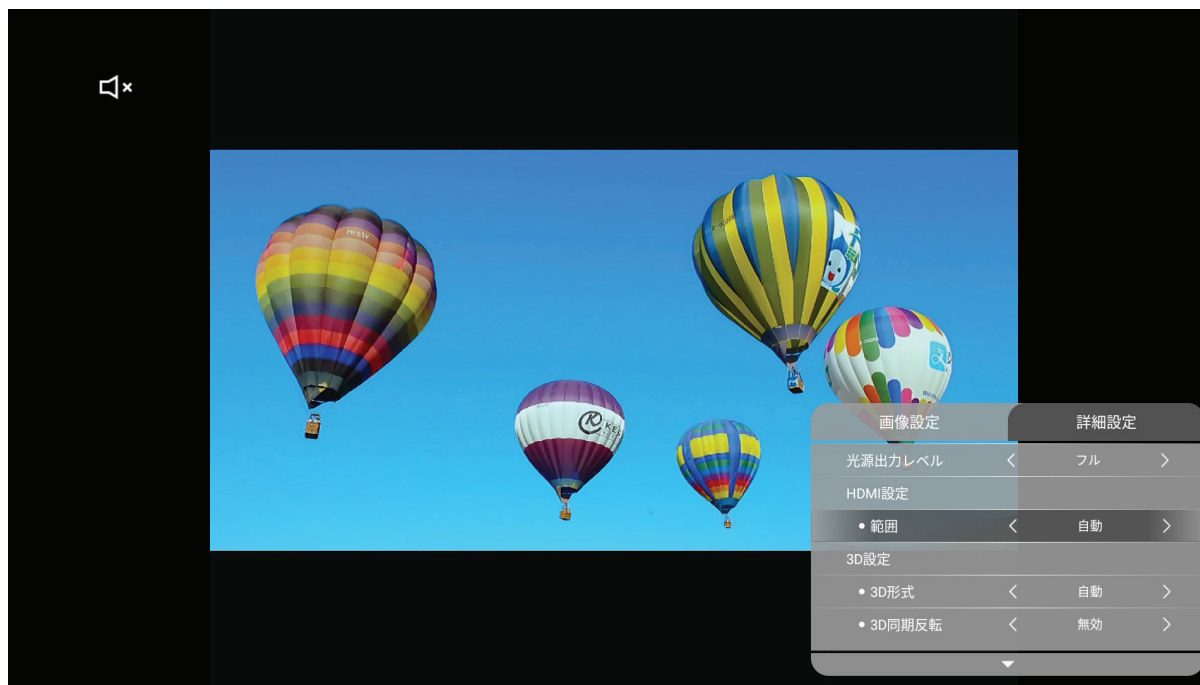
| メニュー | 詳細 |
|-------------|--|
| 光源出力レベル | LEDの適切な消費電力を選択します。 <u>フル</u> 100% <u>エコ</u> 70% <u>バッテリー節約</u> 40% |
| テストパターン | プロジェクターの色表示をテストします。 |
| 現在の色設定をリセット | 現在の色設定をデフォルト値に戻します。 |

詳細設定メニュー

入力ソースを選択したら、**詳細設定**メニューを調整できます。

詳細設定メニューにアクセスするには：

1. リモコンの**設定**を押します。
2. リモコンの**右**ボタンを使用して、**詳細設定**を選択します。



3. 続いてリモコンの**上/下**ボタンを使用して、サブメニューを選択します。
4. リモコンの**左/右**ボタンを使用して、サブメニューに入る、および/または、設定を調整します。
5. リモコンの**戻る**ボタンを押して、前のメニューに戻るか、終了します。

| メニュー | 詳細 |
|--|--|
| <p style="text-align: center;">アスペクト比</p> | <p>アスペクト比は、画像の幅と高さの比です。デジタル信号処理の出現により、このプロジェクターのようなデジタル表示装置は、画像入力信号とは異なるアスペクトに画像出力を動的に伸縮させることができます。</p> <p>注記： HDMI/USB-C信号入力にのみ対応しています。</p> <p><u>自動</u></p> <p>プロジェクターの水平方向の解像度に合わせて、画像を比例的に拡大縮小します。これは、4:3でも16:9でもない入力画像に適しており、画像のアスペクト比を変えずに、スクリーンを最大限に活用したい場合です。</p> <p><u>4:3</u></p> <p>4:3のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。アスペクト比を変更せずに表示できるので、これはコンピュータのモニター、標準精細度テレビ、および4:3アスペクト比のDVDムービーのような4:3画像に最適です。</p> <p><u>16:9</u></p> <p>16:9のアスペクト比でスクリーンの中央に表示されるように画像を拡大縮小します。これは、高精細テレビのように、すでに16:9のアスペクト比の画像に最適です。</p> |
| <p style="text-align: center;">HDMI設定</p> | <p><u>範囲</u></p> <p>接続している出力機器の色域設定に応じて、適切な色域を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自動： 入力信号の範囲を自動的に検出するようにプロジェクターを設定します。 ・ フル： 色範囲を0～255に設定します。 ・ リミテッド： 色範囲を15～235に設定します。 |

| メニュー | 詳細 |
|-------------------------|---|
| <p>3D設定</p> | <p>画像の奥行きを表現することで、3Dメガネをかけながら、よりリアルな方法で3D映画、ビデオ、スポーツイベントを楽しむことができます。</p> <p><u>3D形式</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 • フレームシーケンシャル • フレームパッキング • トップアンドボトム • サイドバイサイド <p><u>3D同期反転</u></p> <p>3D画像の奥行きが反転している場合は補正できます。</p> |
| <p>オーディオ設定</p> | <p><u>オーディオモード</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • 映画：デフォルトの音声モードです。 • 音楽：音楽再生に最適です。 <p><u>音量</u></p> <p>音量を0から50に調整します。</p> <p><u>ミュート</u></p> <p>音量をミュートまたはミュート解除します。</p> |
| <p>インフォメーション</p> | <p>入力ソース、解像度、3D形式を表示します。</p> |

付録

仕様

| 項目 | 区分 | 仕様 |
|-----------|-------|---|
| プロジェクター | タイプ | 0.2" WVGA、LED |
| | 画面サイズ | 24"~100" |
| | 投射距離 | 0.64~2.66 m (1 mで38インチ) |
| | レンズ | F = 1.7、f = 5.5 mm |
| | 光学ズーム | 固定 |
| | 光源タイプ | RGB LED |
| | 光源 | 30,000時間 |
| | 表示色 | 10億7000万色 |
| | 台形補正 | 水平：-/+ 40; 垂直：-/+ 40° |
| 入力信号 | HDMI | f_h : 15K~102 kHz, f_v : 23~120 Hz, |
| | USB C | |
| 解像度 | 標準 | 854 x 480 |
| | サポート | VGA (640 x 480) からフルHD (1920 x 1080) |
| ローカルストレージ | 合計 | 16 GB |
| | 利用可能 | 12 GB |

| 項目 | 区分 | 仕様 |
|--------|------------------|---|
| 入力 | HDMI | 1 (HDMI 1.4、 HDCP 1.4) |
| | USB Type C | 1 (5V/2A) |
| | USB Type A | 1 (USB 2.0リーダー) |
| | Wi-Fi入力 | 1 (5G、 802.11) |
| | 音声入力 (Bluetooth) | 1 (BT 4.2) |
| 出力 | 音声出力 (3.5 mm) | 1 |
| | 音声出力 (Bluetooth) | 1 (BT 4.2) |
| | スピーカー | 3Wキューブ x 2 |
| | USBタイプA (電源) | 1 (USB 2.0、5V/2A、リーダーと共有) |
| 電源アダプタ | 入力電圧 | DC入力100~240V、50/60 Hz (自動切替) |
| 動作環境 | 気温 | 0°C~40°C (32°F~104°F) |
| | 湿度 | 0%~90% (非結露) |
| 寸法 | 寸法 (W x H x D) | 80 x 80 x 173 mm (3.15" x 3.15" x 6.81") |
| 重量 | 寸法 | 0.7 kg (1.54 lbs) |
| 節約モード | オン | 51.0W (標準) |
| | オフ | < 0.5W (スタンバイ) |

タイミングチャート

HDMIビデオタイミング

| 信号 | 解像度 | アスペクト比 | リフレッシュレート (Hz) |
|--------------|-------------|------------|------------------------|
| 480i | 720 x 480 | 4:3 / 16:9 | 60 |
| 480p | 720 x 480 | 4:3 / 16:9 | 60 |
| 576i | 720 x 576 | 4:3 / 16:9 | 50 |
| 576p | 720 x 576 | 4:3 / 16:9 | 50 |
| 720p | 1280 x 720 | 16:9 | 50 / 60 |
| 1080i | 1920 x 1080 | 16:9 | 50 / 60 |
| 1080p | 1920 x 1080 | 16:9 | 24 / 25 / 30 / 50 / 60 |

HDMI PCタイミング

| 信号 | 解像度 | リフレッシュレート (Hz) |
|--------------------|-------------|------------------------|
| VGA | 640 x 480 | 59 / 67 / 72 / 75 / 85 |
| 720 x 400 | 720 x 400 | 70 |
| SVGA | 800 x 600 | 56 / 60 / 72 / 75 / 85 |
| 832 x 624 | 832 x 624 | 75 |
| XGA | 1024 x 768 | 60 / 70 / 75 / 85 |
| 1024 x 576 | 1024 x 576 | 60 |
| XGA+ | 1152 x 864 | 75 |
| 1152 x 870 | 1152 x 870 | 75 |
| WXGA | 1280 x 768 | 60 / 75 / 85 |
| WXGA | 1280 x 800 | 60 / 75 / 85 |
| SVGA | 1280 x 1024 | 60 / 75 / 85 |
| 1280 x 960 | 1280 x 960 | 60 / 85 |
| HD | 1360 x 768 | 60 |
| WXGA+ | 1440 x 900 | 60 / 75 / 85 |
| 1400 x 1050 | 1400 x 1050 | 60 |
| 1600 x 1200 | 1600 x 1200 | 60 |
| WSXGA+ | 1680 x 1050 | 60 |
| 1920 x 1080 | 1920 x 1080 | 60 |

USB Cビデオのタイミング

| 信号 | 解像度 | アスペクト比 | リフレッシュレート (Hz) |
|--------------|-------------|------------|------------------------|
| 480i | 720 x 480 | 4:3 / 16:9 | 60 |
| 480p | 720 x 480 | 4:3 / 16:9 | 60 |
| 576i | 720 x 576 | 4:3 / 16:9 | 50 |
| 576p | 720 x 576 | 4:3 / 16:9 | 50 |
| 720p | 1280 x 720 | 16:9 | 50 / 60 |
| 1080i | 1920 x 1080 | 16:9 | 50 / 60 |
| 1080p | 1920 x 1080 | 16:9 | 24 / 25 / 30 / 50 / 60 |

USB C PCのタイミング

| 信号 | 解像度 | リフレッシュレート (Hz) |
|-------------|-------------|------------------------|
| VGA | 640 x 480 | 59 / 67 / 72 / 75 / 85 |
| 720 x 400 | 720 x 400 | 70 |
| SVGA | 800 x 600 | 56 / 60 / 72 / 75 / 85 |
| 832 x 624 | 832 x 624 | 75 |
| XGA | 1024 x 768 | 60 / 70 / 75 / 85 |
| 1024 x 576 | 1024 x 576 | 60 |
| XGA+ | 1152 x 864 | 75 |
| 1152 x 870 | 1152 x 870 | 75 |
| WXGA | 1280 x 768 | 60 / 75 / 85 |
| WXGA | 1280 x 800 | 60 / 75 / 85 |
| SVGA | 1280 x 1024 | 60 / 75 / 85 |
| 1280 x 960 | 1280 x 960 | 60 / 85 |
| HD | 1360 x 768 | 60 |
| WXGA+ | 1440 x 900 | 60 / 75 / 85 |
| 1400 x 1050 | 1400 x 1050 | 60 |
| 1600 x 1200 | 1600 x 1200 | 60 |
| WSXGA+ | 1680 x 1050 | 60 |
| 1920 x 1080 | 1920 x 1080 | 60 |

3Dサポートタイミング

| HDMI 3D (情報フレーム付きのブルーレイ3D) | | | | |
|--|-------------|--------|-----------------|------|
| 信号 | 解像度(ドット) | アスペクト比 | リフレッシュレート (Hz) | サポート |
| フレームパッキング | | | | |
| 1080p | 1920 x 1080 | 16:9 | 23.98 / 24 | はい |
| 720p | 1280 x 720 | 16:9 | 50 / 59.94 / 60 | はい |
| サイド・バイ・サイド | | | | |
| 1080i | 1920 x 1080 | 16:9 | 50 / 59.94 / 60 | はい |
| トップ・アンド・ボトム | | | | |
| 1080p | 1920 x 1080 | 16:9 | 23.98 / 24 | はい |
| 720p | 1280 x 720 | 16:9 | 50 / 59.94 / 60 | はい |
| 3D (HDMI/USB C) 手動設定 | | | | |
| SVGA | 8000 x 600 | 4:3 | 60* | はい |
| XGA | 1024 x 768 | 4:3 | 60* | はい |
| HD | 1280 x 720 | 16:9 | 60* | はい |
| WXGA | 1280 x 800 | 16:9 | 60* | はい |
| HDTV (1080p) | 1920 x 1080 | 16:9 | 60 | はい |
| 注記: | | | | |
| * 60Hz信号は、サイド・バイ・サイド、トップ・アンド・ボトム、フレームシーケンシャルでサポートされています。 | | | | |

トラブルシューティング

本章では、プロジェクターを使用するにあたり、発生する可能性がある問題と対処方法を記載します。

| 問題 | 解決策 |
|------------------------|--|
| プロジェクターの電源が入らない | <ul style="list-style-type: none">• 電源コードがプロジェクターとコンセントに正しく接続されていることを確認してください。• バッテリー残量が¹であることを確認するか、電源アダプタを接続します。• プロジェクターのバッテリーが低下すると、自動的に電源がオフになったりオンになったりすることがあります。プロジェクターのスイッチを切り、少なくとも30分間バッテリーを充電してください。• 冷却プロセスが完了していない場合は、終了するまで待つてからもう一度プロジェクターの電源を入れてください。• 上記の方法でうまくいかない場合は、別のコンセントまたは同じコンセントで別の電気機器を試してください。 |
| 画像が表示されない | <ul style="list-style-type: none">• ビデオソースケーブルが正しく接続され、ビデオソースがオンになっていることを確認してください。• 入力ソースが自動的に選択されていない場合は、プロジェクターまたはリモコンのSource (ソース) キーで正しいソースを選択してください。 |
| 画像がぼやけている | <ul style="list-style-type: none">• フォーカス調整リングを使用して画像を鮮明にすることで、画像の鮮明度を向上させます。• プロジェクターとスクリーンが正しく整列していることを確認してください。必要に応じて、プロジェクターの高さ、および投影角度と方向を調整してください。 |

¹ デバイスを長期間使用していない場合、最初にバッテリーを3時間充電する必要がある場合があります。

| 問題 | 解決策 |
|------------------------------|--|
| リモコンが機能しない | <ul style="list-style-type: none"> • リモコンとプロジェクターの間に障害物がなく、それらが互いの8 m (26フィート) 以内にあることを確認してください。 • 電池が切れている可能性があります。確認して、必要に応じて交換してください。 |
| プロジェクター/システムはフリーズしており、応答しません | <ul style="list-style-type: none"> • プロジェクターをリセットするには、電源スイッチのオン/オフを切り替えてください。 |

LED インジケータ

| 場所 | ライト | ステータスと説明 |
|-----------|-------|---------------------------|
| LEDインジケータ | 緑 | 電源オン |
| | 赤 | スタンバイモード |
| 電池 | 白色に点滅 | プロジェクターのバッテリーが充電中です |
| | 白色に点灯 | プロジェクターのバッテリーは完全に充電されています |

メンテナンス

お手入れの際の注意

- プロジェクターのお手入れを行う際は、必ず電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いておいてください。
- プロジェクターから部品を取り外さないでください。プロジェクターの部品の交換が必要な場合は、カスタマーサポートにお問い合わせください。
- 絶対にケースに直接液体をスプレーしたり、かけたりしないでください。
- プロジェクターは十分注意してお取扱ってください。傷がついた場合、跡が残る可能性があります。

レンズを清掃する

- ほこりを取り除くために圧縮空気のキャニスターを使用してください。
- それでもレンズが汚れている場合は、レンズクリーニングペーパーを使用するか、レンズクリーナーで柔らかい布を湿らせて、表面をやさしく拭いてください。

注意：レンズを研磨剤でこすらないでください。

プロジェクターを保管する

プロジェクターを長期間保管する場合は、次の手順を実行してください。

- 保管場所の温度と湿度が推奨範囲内であることを確認してください。
- アジャスターフットを完全に引き込みます。
- リモコンから電池を取り出します。
- プロジェクターを、元の梱包材または同等の梱包材で梱包してください。

免責事項

- レンズまたはケースにアンモニアまたはアルコールベースのクリーナーを使用することはお勧めしません。いくつかの化学洗浄剤は、プロジェクターのレンズおよび/またはケースを損傷することが報告されています。
- NOMVDIC™は、アンモニアやアルコールベースの洗剤の使用に起因する損傷の一切の責任を負いません。

規制およびサービス情報

コンプライアンス情報

本セクションでは、関連するすべての要件と規制に関する声明を扱います。確認された対応用途は、本体上の銘板ラベルおよび関連マーケティングを参照してください。

FCCコンプライアンス声明

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。操作は次の2つの条件に従うものとします：(1) 本装置は有害な干渉を引き起こさない場合があります。(2) 本装置は、望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。本装置は、FCC規則パート15に従って試験され、クラスBデジタル装置の制限に準拠していることが判明しています。

これらの制限は、住宅における設置で有害な干渉から適切な保護を提供するように設計されています。本装置は、無線周波エネルギーを生成、使用しており、放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しない場合には、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こした場合（装置の電源を入れ直して判断できます）、次のいずれかの方法で干渉を是正するようにしてください。

- 受信アンテナの向きまたは位置を変えてください。
- 本装置と受信機の間隔を広げてください。
- 受信機が接続されているコンセントとは別のコンセントに本装置を接続してください。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

警告：コンプライアンス担当者が明示的に承認していない変更または修正を行うと、本装置の操作権限が失われる可能性があることに注意してください。

FCC放射線被ばく声明

この装置は、管理されていない環境に対して定められたFCC放射線被曝制限に準拠しています。エンドユーザーは、RF暴露コンプライアンスを満たすために、特定の操作手順に従う必要があります。

本送信機は、他のアンテナや送信機と同じ場所に設置したり、一緒に動作させたりしてはなりません。本装置は、ラジエーターと身体の間
に最低20 cmの距離を置いて設置および操作する必要があります。

意図的または意図的ではないラジエーターのユーザーマニュアルまたは取扱説明書は、コンプライアンスの責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、ユーザーの機器を操作する権限が無効になる可能性があることをユーザーに警告するものとします。

カナダ産業省の声明

CAN ICES-003(B) / NMB-003(B)

IC警告に関する声明

本装置は、カナダ産業省の免税RSS規格に準拠しています。操作は次の2つの条件に従うものとします：(1) 本装置は干渉を引き起こさない場合があります。(2) 本装置は、装置の望ましくない動作の原因となる干渉を含め、受信した干渉を受け入れなければなりません。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.
L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

国コードに関する声明

米国/カナダ市場で入手可能な製品の場合、チャンネル1から11のみを操作できます。他のチャンネルの選択はできません。

Pour les produits disponibles aux États-Unis/Canada du marché, seul le canal 1 à 11 peuvent être exploités. Sélection d'autres canaux n'est pas possible.

IC放射線被ばくに関する声明

本装置は、管理されていない環境に対して定められたIC RSS-102放射線被曝制限に準拠しています。本装置は、ラジエーターと身体の間
に最低20cmの距離を置いて設置および操作する必要があります。5150～5825 MHz帯域の装置は、屋内での使用のみを目的としており、
同一チャネルのモバイル衛星システムへの有害な干渉の可能性を低減します。

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements IC établies pour un environnement non contrôlé.
Cet équipement doit être installé et utilisé avec un minimum de 20cm de distance entre la source de rayonnement et votre
corps. Les dispositifs fonctionnant dans la bande 5150-5825 MHz sont réservés uniquement pour une utilisation à l'intérieur
afin de réduire les risques de brouillage.

5150～5250 MHz帯域の動作は、屋内での使用のみを目的としており、同一チャネルのモバイル衛星システムへの有害な干渉の可能性を
低減します。

La bande 5150-5250 MHz est réservés uniquement pour une utilisation à l'intérieur afin de réduire les risques de brouillage
préjudiciable aux systèmes de satellites mobiles utilisant les mêmes canaux.

欧州諸国のCE適合



本製品はEMC指令2014/30/EU、低電圧指令2014/35/EU、エコデザイン指令2009/125/EC、無線機器指令2014/53/EUに
適合しています。周波数範囲：2400-2483.5MHz、5150-5250MHz 最大出力電力：20dBm未満

次の情報は、EU加盟国のみ適用されます：

右側のマークは、廃電気電子機器指令2012/19/EU (WEEE) に準拠しています。このマークは、本装置を未分
類の地方自治体の廃棄物として処分せず、現地の法律に従って回収し、回収システムを使用する必要があ
ることを示しています。



本製品に搭載される電池、アキュムレータ、ボタン型電池にHg (水銀)、Cd (カドミウム)、Pb (鉛) が表示され
る場合、電池には0.0005%を越える水銀、0.002%を越えるカドミウム、0.004%を越える鉛の、いずれかの重
金属が含まれていることを示します。

RoHS2コンプライアンス宣言

本製品は、欧州議会および理事会指令2011/65/EU(電気・電子機器における特定の有害物質の使用制限に関する指令(RoHS2指令))に準拠して設計・製造されており、欧州技術適合委員会(TAC)が発行する以下の最大濃度値に適合しているとみなされます:

| 物質 | 提案された最大濃度 | 実際の濃度 |
|------------------------------|-----------|---------|
| 鉛 (Pb) | 0.1% | < 0.1% |
| 水銀 (Hg) | 0.1% | < 0.1% |
| カドミウム (Cd) | 0.01% | < 0.01% |
| 六価クロム (Cr6+) | 0.1% | < 0.1% |
| ポリ臭化ビフェニル (PBB) | 0.1% | < 0.1% |
| ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDE) | 0.1% | < 0.1% |
| フタル酸ビス (2-エチルヘキシル) (DEHP) | 0.1% | < 0.1% |
| Benzyl butyl phthalate (BBP) | 0.1% | < 0.1% |
| フタル酸ジブチル (DBP) | 0.1% | < 0.1% |
| フタル酸ジイソブチル (DIBP) | 0.1% | < 0.1% |

上記のような製品の特定のコンポーネントは、下記のRoHS2指令の附属書IIIの下で免除されています。免除されているコンポーネントの例を以下に挙げます:

- 鉛を重量4%まで含有する銅合金。
- 高融点温度はんだ中の鉛(すなわち、鉛を重量85%以上含む鉛ベースの合金)。
- コンデンサに誘電体セラミック以外のガラスまたはセラミックの鉛を含む電気および電子部品(例えば、圧電素子、またはガラスまたはセラミックマトリックス化合物中)。
- 定格電圧125V ACまたは250V DC以上の場合のコンデンサの誘電体セラミック内の鉛。

バッテリー警告

• 電池:

- » 電池が使用、保管、または輸送中にさらされる可能性のある極端な高温または低温。高高度では気圧が低くなります。
- » 安全装置を無効にする可能性のある不適切なタイプの電池交換（たとえば、一部のリチウム電池タイプの場合）。
- » 電池を火または高温のオーブンに廃棄するか、電池を機械的に押しつぶして破裂させると爆発する恐れがあります。
- » 非常に高温の周囲環境に電池を放置すると、爆発または引火性の液体またはガスの漏れを引き起こす可能性があります。
- » 電池を極端に低い気圧に曝すと、爆発したり、可燃性の液体またはガスが漏れたりする可能性があります。

警告

- » このデバイスに使用される電池は、取り外したり分解すると火災や化学薬品による火傷のおそれがあります。
- » 安全を期するために、警告標記に従ってください。
- » 電池を間違ったタイプのものに交換すると、爆発の危険があります。
- » 火中に投じて廃棄しないでください。
- » LEDプロジェクターの電池は絶対に短絡させないでください。
- » 液漏れが見つかった場合は使用を中止してください。
- » 電池とその部品は適切にリサイクルまたは廃棄する必要があります。
- » 電池やその他の小さな部品はお子様の手が届かないようにしてください。

インドの有害物質規制

有害物質規制に関する声明(インド)。本製品は、「インドE廃棄ルール2011」に準拠しており、鉛、水銀、六価クロム、ポリ臭素化ビフェニルまたはポリ臭素化ジフェニルエーテルに対する濃度が0.1重量%、カドミウムに対する濃度が0.01重量%を超えるものを使用することが禁止されています。ただし、規則の附属書2に定められた免除を除きます。

著作権情報

Copyright© NOMVDIC Corporation, 2023. All rights reserved. 版權所有。

NOMVDIC™はNOMVDIC Corporationの商標であり、米国とその他特定の国々で商標を登録されています。

免責条項：本書で示されるサードパーティ製のアプリケーションやアプリストアは参考目的のみであり、それぞれのロゴや商標は各所有者の所有物です。また、各所有者は当社の製品をスポンサーしたり、利害関係を持つものではありません。

カスタマーサポート

技術サポートは、<https://nomvdic.io/pages/contact>へお問い合わせいただくか、hello@nomvdic.ioまでメールでご連絡ください。

NOMVDIC™製品の保証登録を行う場合は、<https://nomvdic.io/pages/warranty>をご覧ください。

注記：製品のシリアル番号が必要です。

限定保証

保証内容:

NOMVDIC™は、保証期間中、製品に材料や製造上の欠陥がないことを保証します。保証期間中に製品の材料または製造上の欠陥が判明した場合、NOMVDIC™は、唯一の救済策として、修理するか、あるいは類似の製品に交換します。交換用の製品または部品には、再生または改装された部品またはコンポーネントが含まれる場合があります。交換用の部品または製品は、お客様の元の限定保証に残っている期間について保証されます。NOMVDIC™は、製品に付属しているか、お客様がインストールしたサードパーティソフトウェア、認可されていないハードウェア部品またはコンポーネントをインストールした場合でも、いかなるサードパーティソフトウェアも保証しません。（「保証対象外」のセクションをご覧ください）

保証期間:

NOMVDIC™プロジェクター

1年間の限定保証

リモコン

6か月の限定保証

ACアダプター

6か月の限定保証

保証対象者:

この保証は、最初の消費者購入者にのみ有効です。

保証対象外:

1. この保証は、電池、電源コード、3.5mmオーディオケーブル、USB-Cケーブルなどの消耗材の自然な劣化は対象外とします。ただし、素材や製造が理由で障害が発生した場合は対象となります。素材や製造が理由の場合でも、乱用、事故、改造、不許可の修理やその他の原因は対象外とします。
2. シリアル番号が破損、変更、または削除された製品。
3. 以下に起因する損傷、劣化または誤動作:

- » 事故、誤用、怠慢、火災、洪水、雷、または自然災害、不正な製品の変更、または製品に付属の説明書の不順守。
- » NOMVDIC™の認可を受けていない者による修理または修理の試み。
- » プログラム、データ、またはリムーバブル記憶媒体の損傷または紛失。
- » 出荷による製品の損傷。
- » 電力の変動や停電など、製品外部の原因。
- » 通常の損耗。
- » ユーザーが清掃可能なプロジェクターのフィルターの清掃など、取扱説明書に記載されている定期的な製品メンテナンスの実施不足。
- » 製品の欠陥に関係しないその他の原因。
- » ハードウェア/付属品/部品/コンポーネント -許可されていないハードウェア、付属品、コンポーネントの設置。
- » 製品のユーザーガイドに記載されている不適切な清掃によるディスプレイ表面のコーティングの損傷または濫用による損傷。

サービスを受ける方法：

保証サービスを受ける方法の詳細は、hello@nomvdic.ioへお問い合わせください。サービスを受ける場合は、以下の情報をお手元に準備してください。

- 製品のシリアル番号
- 日付の記載された販売証明のコピー
- お名前
- メールアドレス
- 電話番号
- 配送先の住所
- 問題の説明

NOMVDIC™はお客様が指定した運送業者による破損に責任を負うことはありません。

指定された運送業者が配送に関わる問題を起こす事態に備えて、返却される製品に保険をかけることをお勧めします。



NOMVDIC™